

NACCS業務資料 航空編

【保税業務の概要】



輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

2019年 秋期

● システム処理の範囲 3

● 輸出業務概要について

- 輸出業務フロー（輸出ストレート貨物） 5
- 輸出業務フロー（輸出混載貨物） 6
- 輸出貨物搬入確認登録（BIL業務）について 7
- 輸出貨物搬入確認登録（BII業務）について 9
- ハンドキャリー（携帯品）の取扱いについて 11

● 輸出貨物搬出業務について

- 搬出確認登録（EXA業務）について 13
- 搬出確認登録（EXM業務）について 15

**プログラム変更に伴う新設
業務や変更点あり**

● 照会業務（輸出）について

- 輸出貨物情報照会（IGS） 18
- 輸出貨物情報照会（IGS）「SMRY 概要情報」 19
- 輸出貨物情報照会（IGS）「ENTS 搬入伝票情報」 22
- 輸出貨物情報照会（IGS）「BNDI 搬入情報」 23
- 輸出貨物情報照会（IGS）「BNDO 搬出情報」 24
- 輸出貨物情報照会（IGS）「BOND 蔵置情報」 25
- 輸出貨物情報照会（IGS）「ALBN 保税蔵置場情報」 26
- 輸出貨物情報照会（IGS）「CUST 税関手続情報」 27
- 輸出貨物情報照会（IGS）「PORT 空港情報」 28
- 輸出貨物情報照会（IGS）「FLIT 搭載情報」 29
- 輸出貨物情報照会（IGS）「BLDU ULD積付情報」 30
- 輸出貨物情報照会（IGS）「HIST 履歴情報」 31
- 保税蔵置場在庫状況照会（輸出）（IWH）の変更点 32

● 輸出貨物取扱業務について

- 蔵置中の保税貨物に行う各種業務一覧（輸出） 35
- AHS（輸出貨物取扱登録（仕分け）） 36
- AHT（輸出貨物取扱登録（仕合せ）） 37
- 輸出貨物取扱確認登録について 38
- CCH（輸出貨物取扱確認登録） 39
- AHC（輸出貨物取扱取消） 41
- AHN（輸出貨物取扱登録（内容点検）） 42
- AHU（輸出貨物情報仕分け登録） 43
- AHV（輸出貨物情報仕合せ登録） 44

● 輸入業務概要について

- 輸入業務フロー（輸入ストレート貨物）・・・46
- 輸入業務フロー（輸入混載貨物）・・・47
- 貨物確認情報登録（PKG業務）について・・・48
- 貨物確認情報終了登録（EPK業務）について・・・49
- 混載貨物確認情報登録（HPK業務）について・・・50
- 輸入貨物の搬出入について・・・51
- 搬入確認登録（BIN業務）について・・・52
- 搬出確認登録（OUT業務）について・・・54
- 蔵置料金請求先登録（CUR01業務）・・・55
- 蔵入等航空貨物到着確認（BAS業務）【新規業務】・・・57

● 照会業務（輸入）について

- 輸入貨物情報照会（IAW）・・・59
- 輸入貨物情報照会（IAW）《共通部》・・・60
- 輸入貨物情報照会（IAW）《SMRY 概要情報》・・・61
- 輸入貨物情報照会（IAW）《FLTI 搬入伝票情報》・・・63
- 輸入貨物情報照会（IAW）《BNDI 貨物搬入情報》・・・64
- 輸入貨物情報照会（IAW）《BOND 保税蔵置場情報》・・・65
- 輸入貨物情報照会（IAW）《BNDO 貨物搬出情報》・・・66
- 輸入貨物情報照会（IAW）《LOC ロケーション情報》・・・67
- 輸入貨物情報照会（IAW）《PERM 手続諸届許可承認情報》・・・68
- 輸入貨物情報照会（IAW）《HIST 履歴情報》・・・69

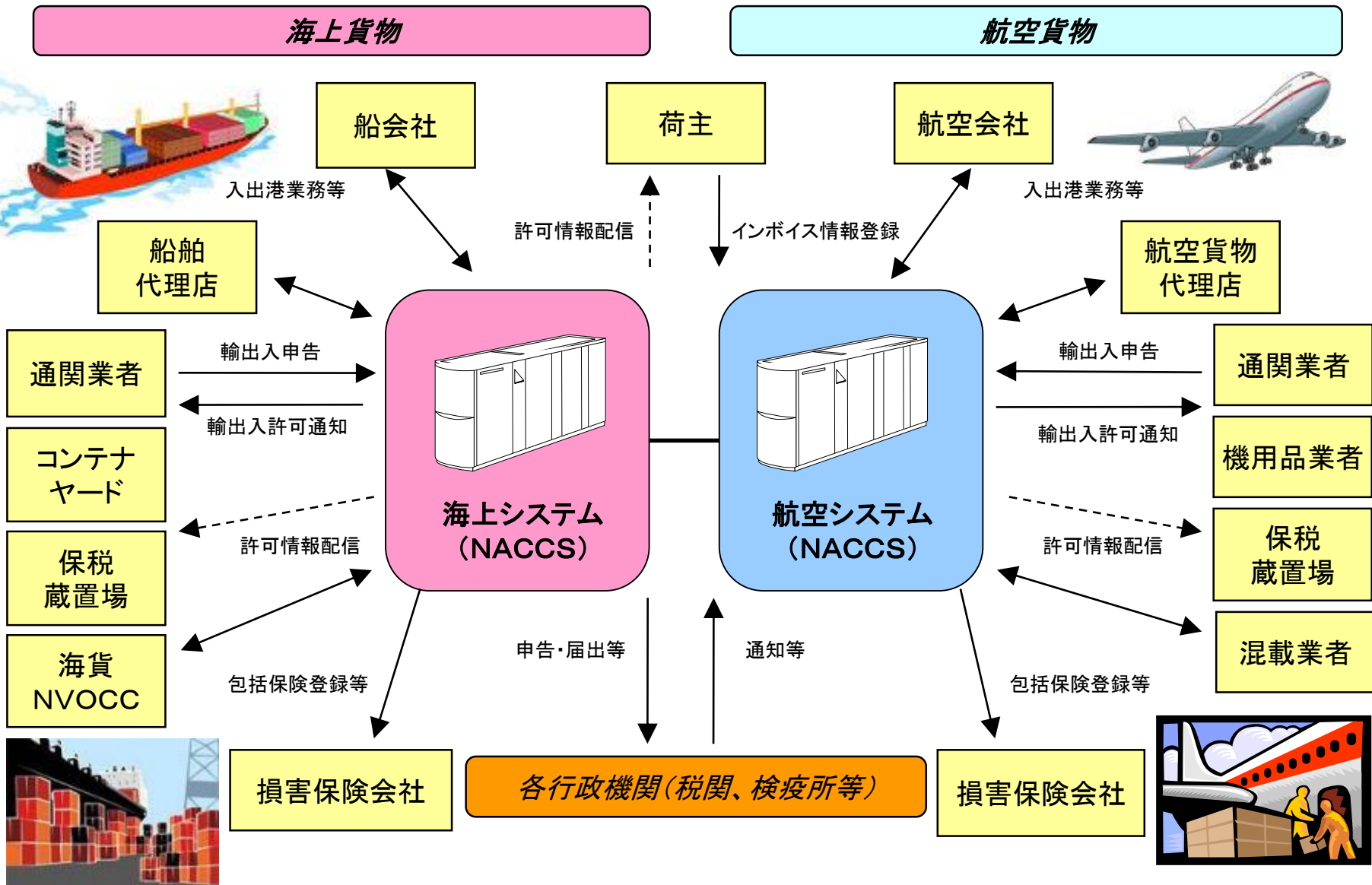
● 輸入貨物取扱業務について

- 蔵置中の保税貨物に行う各種業務一覧（輸入）・・・71
- CHS（貨物取扱登録（改装・仕分））・・・72
- CFS（貨物取扱確認登録（改装・仕分））・・・74
- CHN（貨物取扱登録（内容点検））・・・75
- CHC（貨物取扱取消（内容点検））
- CHT（貨物取扱登録（特殊貨物））・・・76
- 蔵置中の保税貨物に行う各種業務一覧（輸出入共通）・・・77
- AHD（貨物取扱許可申請）・・・78
- AHI（貨物取扱結果通知）・・・79
- AHH（貨物取扱許可申請取消）
- MMA（見本持出許可申請）・・・80
- MMO（見本持出確認登録）・・・81
- MMC（見本持出取消）・・・82

● NACCSの利用について

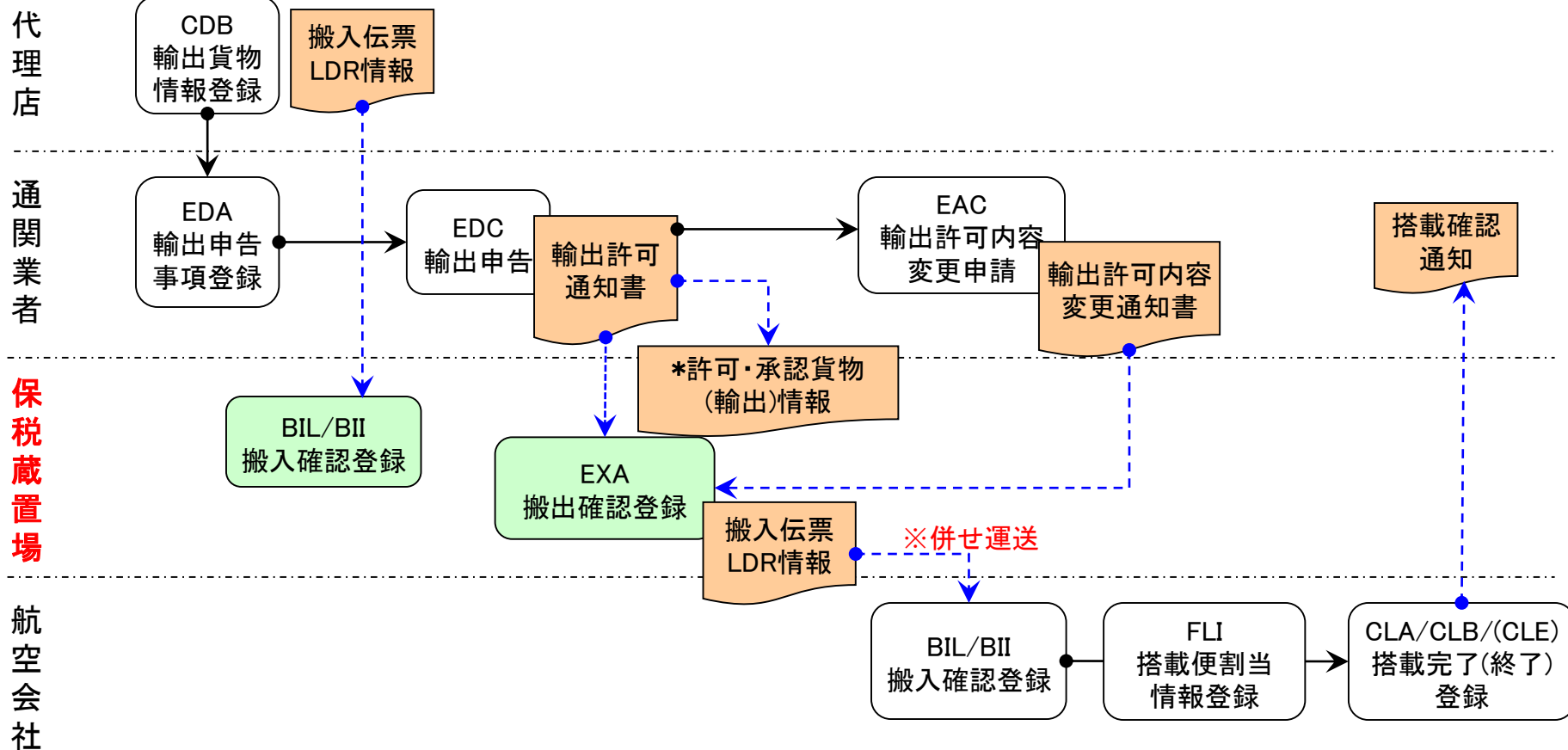
- 管理統計資料について・・・84
- 管理統計資料の取出し～展開について・・・85
- 管理統計資料の活用（保税台帳の作成について）・・・87
- 保税管理資料保存サービスについて・・・88
- 管理統計資料の変更点について・・・89
- NACCSのサポート体制のご案内・・・90

プログラム変更に伴う新設業務や変更点あり



輸出業務概要について

人・物・国をつなぐ
NACCS
Nippon Automated Cargo And Port Consolidated System



輸出業務フロー(輸出混載貨物)

出荷→空港搬入

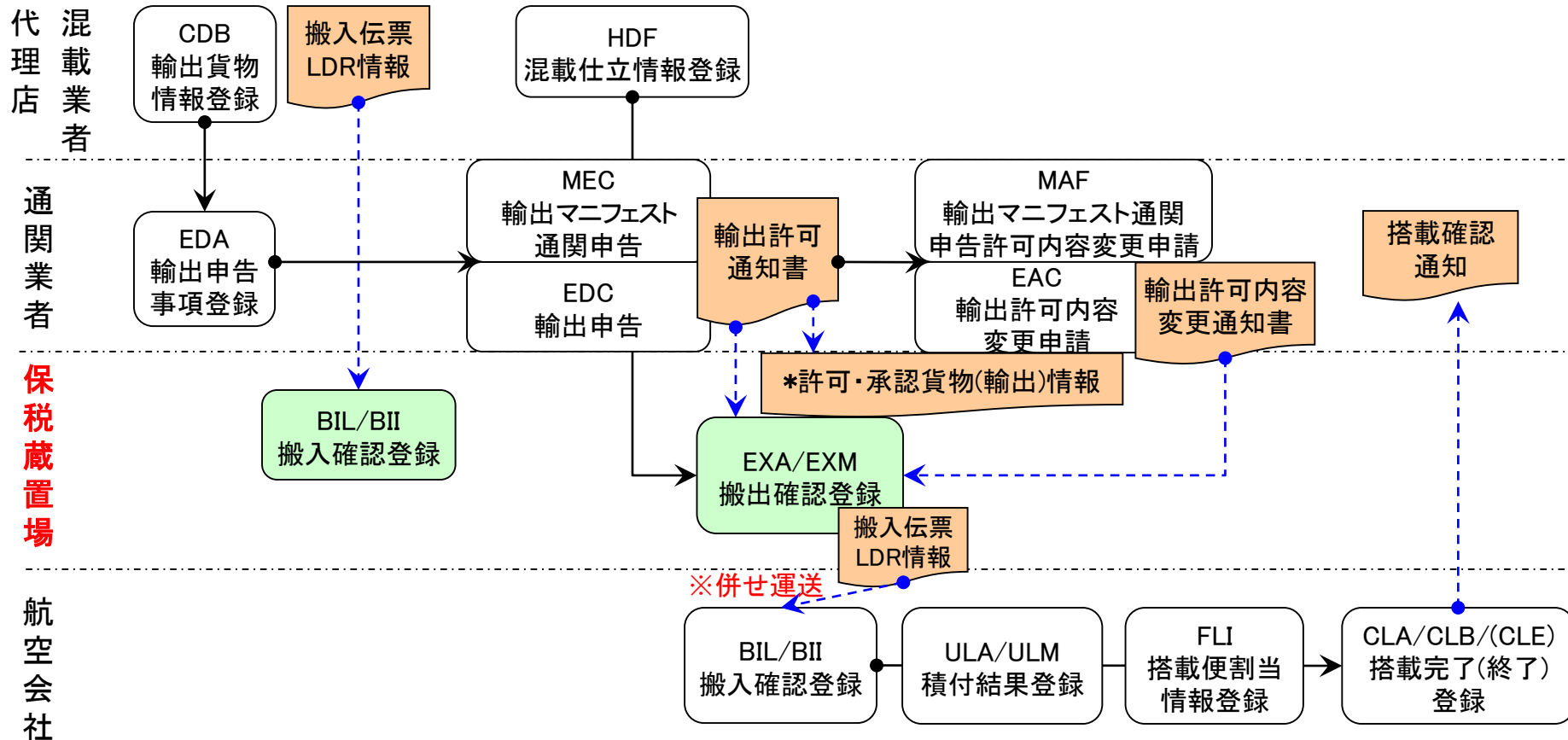
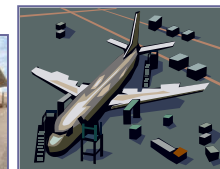


搬入→ULD等積み付け→搬出

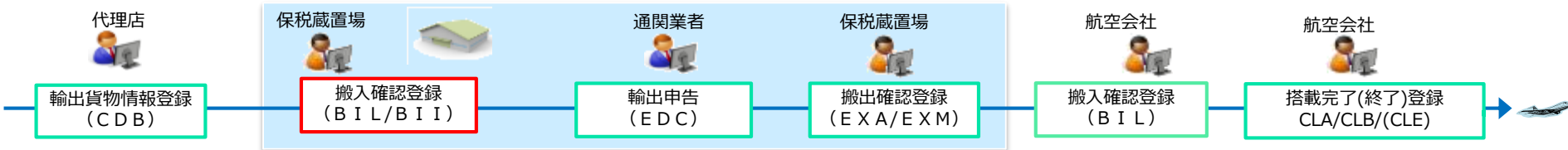
通関 / 混載仕立



搬入(航空会社引渡し)→搭載



輸出貨物搬入確認登録(BIL業務)について



■ 一括搬入確認登録(BIL業務)

- 搬入伝票(またはLDR)単位に搬入確認を行います。
- BIL業務により搬入伝票(またはLDR)に登録されている貨物情報を呼び出した上、BIL01業務により実施します。

■ BIL業務の入力項目

搬入伝票番号/LDR番号※ 1064486

簡易処理表示

搬入識別

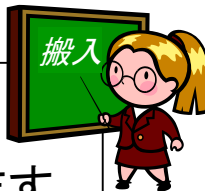
- (1) 情報呼出しは、「blank」
- (2) 輸出貨物情報の呼出しを行わずに搬入を行う場合は、「Y」(簡易処理)または「O」(時間外搬入簡易処理)を入力
- (3) 簡易処理または「O」がエラーとなった場合は、発生したエラー原因の除去後、処理対象外となった貨物から再度簡易処理を行う時に、「F」(強制処理)を入力
- (4) 搬入識別が「P」、「R」の場合は、入力不可

- (1) 情報呼出しは、「blank」
- (2) 搬入すべき貨物をすべて保留する場合は、「P」(搬入保留)を入力
- (3) 簡易処理または「O」がエラーとなった場合に、簡易処理を使用せずに搬入処理を行う時には、「R」(リカバリ処理)を入力
- (4) 簡易処理表示が「Y」、「F」の場合は、入力不可

BIL01業務へ

※簡易処理「Y」以外の場合

簡易処理表示に「Y」フラグを立てると、BIL01を展開せずに、搬入処理が可能となります。



■ BIL01業務の入力項目

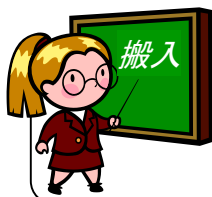
搬入伝票番号／L D R 番号 代理店 搬出保税蔵置場 搬入保税蔵置場 棟記号

車上通関表示 ☐ 時間外搬入表示 ☐ トラック番号 搬入年月日

	AWB番号 品名	個数 事故	重量 備考	仕向地	SPC	S	混載	積込港	E/D番号
01	NAC - 1111111 BOOK	N	1	10.0	HKG				
02									
03									

スペース: 搬入確認
 X: 一括搬入処理対象外
 P: 搬入保留
 *: 搬入不能(処理対象外)

貨物種別が「R」、「T」、「O」の場合は保税運送承認
 番号または輸出許可番号を入力
 R: 未通関積戻し貨物
 T: システム外許可済貨物
 O: システム外許可済積戻し貨物



一括搬入処理の対象外とした貨物について搬入確認を行う場合、個別搬入確認(BII01業務)を行うこととなります。後続の*BII01(その2)参照

■ 個別搬入確認登録 (BII業務)

- 保税蔵置場への搬入確認を個別に行います。
- 輸出貨物情報の登録がない場合、本業務により貨物情報の作成を行います。
- BII業務により登録済み※の貨物情報を呼び出した上、BII01業務により実施します。

※貨物情報の登録がない場合、単にBII01画面が展開します。

■ BII業務の入力項目

伝票種別に「D」または「L」が入力された場合、伝票種別に該当する搬入伝票番号またはLDR番号

代理店 他所蔵置場所 U L D 番号

伝票種別 伝票番号

処理識別	貨物識別	A W B 番号	貨物種別
01 ☐	H	NAC - 3333333	N
02 ☐		-	
03 ☐		-	

スペース: マニュアルの搬入伝票
D: 輸出貨物情報DBに登録されている搬入伝票
L: 輸出貨物情報DBに登録されているLDR

 **BII01業務へ**

■ BII01業務の入力項目(BIIから呼出し)

代理店		棟記号		車上通関表示	☐	時間外搬入表示	☐	他所蔵置場所		搬入年月日	2017/08/07	
ULD番号			伝票種別	☐	伝票番号							
AWB番号		個数		総個数		重量	DST	SPC	X	事故	営業所	F
混載		航空会社	積込港	品名		備考		MAWB番号				
01	☐	H	NAC - 3333333	☐	N	1	1	30.0	SIN	☐	☐	☐
	☐	☐	☐	PERSONAL COMPUTER				☐	-			
E/D番号										許可・承認等件数		
02	☐	☐		☐						☐	☐	☐
	☐	☐										
E/D番号											許可・承認等件数	

許可・承認等番号が5件を超える場合は、その超過分の件数を入力

貨物情報が無い場合の登録では、「代理店欄」と「品名欄」に入力が無い場合、EXA01業務の際、エラーとなりますのでご注意ください。(*AIB業務での訂正が必要。)

[illegible]

共通部		繰返部	
大額・少額識別 L	申告等種別※	申告先種別	申告等番号
あて先官署	あて先部門	貨物識別	識別符号
輸出者			申告予定年月日
輸出者住所			

MAWB番号 -

搬出先*
 搬出元
 積込港
 TRMNO
 搬出区分

時間外搬出表示 ☐
 トラック番号
 請求先
 強制表 ☐

処理 A W B 番号

01			
02			
03			

:通常搬出
 J:自社運送
 T:保税運送 (飯陸揚貨物)
 F:不積返送
 R:保税運送 (積戻し貨物)
 2:トランスファー (他航空会社への移動)
 D:内貨引取
 H:換帯貨物
 M:減却
 B:亡失
 O:その他
 A:未通関貨物搬出 (輸出申告可能航空会社保税蔵置場向け)

荷主が空港まで貨物を持っていき、
税関に輸出許可証を提出することになります。

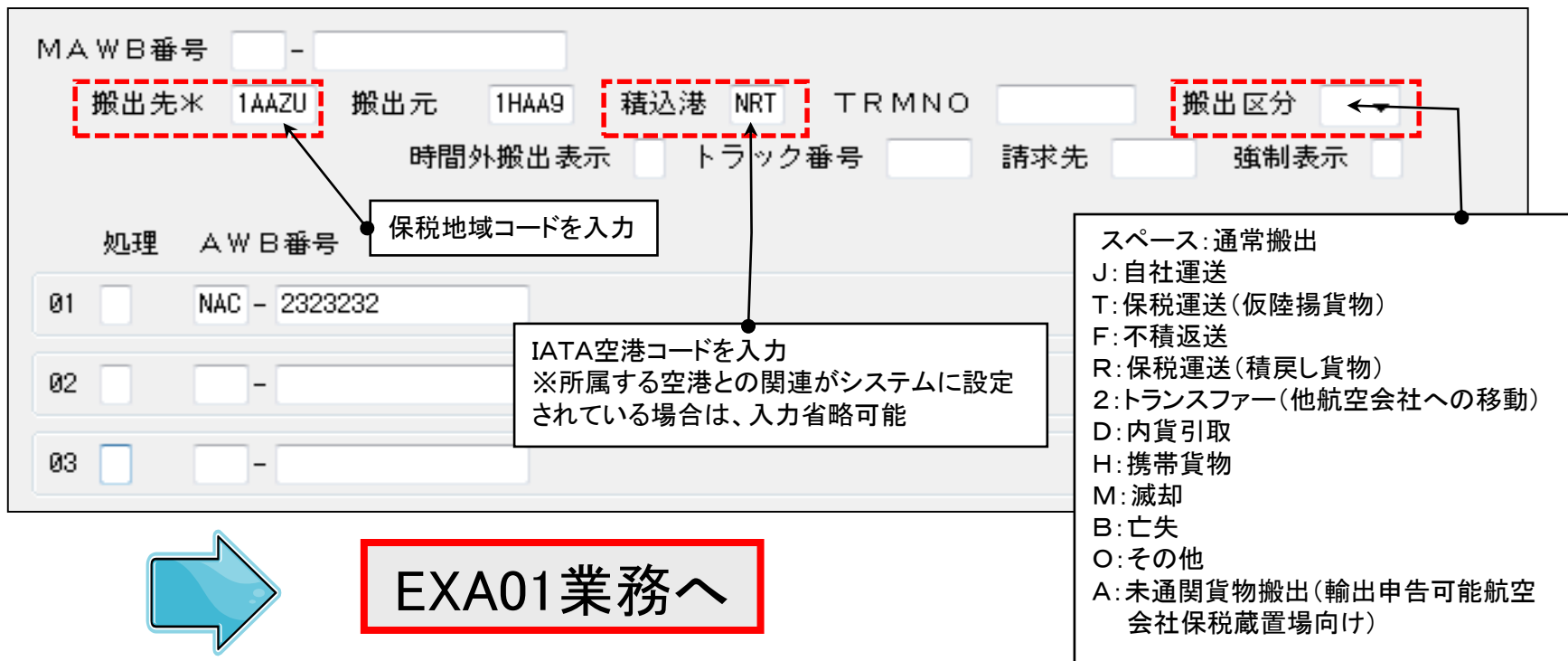
11

輸出貨物搬出業務について

■ 搬出確認登録(AWB・HAWB単位)

- 入力されたAWB番号単位に搬出登録を行います。
- EXA業務により登録されている貨物情報を呼び出した上、EXA01業務により実施します。

■ EXA業務の入力項目



MAWB番号 -

搬出先* 1AAZU 搬出元 1HAA9 積込港 NRT TRMNO 搬出区分

時間外搬出表示 ☐ トラック番号 請求先 強制表示 ☐

処理 AWB番号 保税地域コードを入力

01 ☐ NAC - 2323232

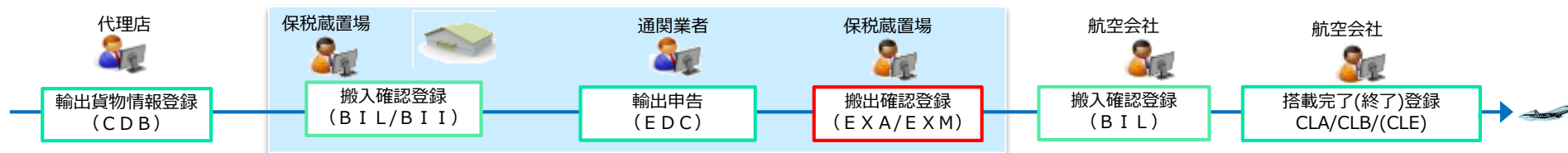
02 ☐ -

03 ☐ -

IATA空港コードを入力
※所属する空港との関連がシステムに設定されている場合は、入力省略可能

スペース:通常搬出
J:自社運送
T:保税運送(仮陸揚貨物)
F:不積返送
R:保税運送(積戻し貨物)
2:トランスファー(他航空会社への移動)
D:内貨引取
H:携帯貨物
M:滅却
B:亡失
O:その他
A:未通関貨物搬出(輸出申告可能航空会社保税蔵置場向け)

EXA01業務へ



■ EXA01業務の入力項目

MAWB番号		-	LDR番号						
搬出先	1AAZU	搬出元	1HAA9	積込港	NRT	TRMNO		搬出区分	
搬出年月日	2010/10/04	時間外搬出表示	☐	トラック番号		請求先		強制表示	☐

	AWB番号	個数	重量	仕向地	S	代/混	UBG	特記事項
01	H NAC - 2323232	5	5	50.0	HKG	J1FA9		A E C
02								
03								

搬出確認の処理対象外とする場合、
「X」を入力

搬出可能な個数を入力



搬入確認登録時に枝番搬入された貨物であっても、搬出個数は搬入枝番単位ではなく蔵置個数で出力されます。(*B/L(AWB, HAWB)単位となる。)

■ 搬出確認登録(MAWB単位)

- MAWB番号に関連付けられたHAWBについて、MAWB番号単位に搬出登録を行います。
- EXM業務によりMAWB番号に関連付けされている貨物情報を呼び出した上、EXM01業務により実施します。

※ULDへ積み付けされている貨物は除く。

■ EXM業務の入力項目

MAWB番号※	160 - 60104656
LD R 番号	
搬出元保税蔵置場	
混載業	
積込港※	NRT

ジョイント混載貨物をジョイント業者ごとに搬出する場合は、混載業を入力



EXM01業務へ

■ EXM01業務の入力項目

搬出先が航空会社の場合、MAWB番号に登録されている航空会社と同一であること。

スペース: 通常搬出
J: 自社運送
2: トランスファー(他航空会社への移動)

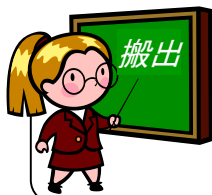
MAWB番号 160 - 60104656 LDR番号 混載業

搬出先* 搬出元* 1HAA9 積込港 NRT TRMNO 搬出区分

搬出年月日 2010/10/04 時間外搬出表示 トラック番号 請求先 強制表示

	HAWB番号	個数	重量	仕向地	S	代/混	UBG	特記事項
01	NAC - 3434343	10 - 10	100.0	HKG		J1FA9		A E H
02								
03								

X: 搬出確認の処理対象外とする場合に入力
E: 搬出処理終了(入力した欄までを処理対象とする)



本業務でMAWBに係る貨物をすべて搬出した場合は、入力者及び搬出先(出力する旨が登録されている航空会社)に対して、LDR情報を出力します。

照会業務（輸出）について

IGS(輸出貨物情報照会)入力画面

The diagram shows the input screen for the IGS (Export Cargo Information Inquiry) system. It includes a main form area with four input fields: 'AWB番号※' (AWB Number), '指定情報' (Designation Information), '空港コード' (Airport Code), and '保税蔵置場' (Bonded Warehouse). Each field has a red dashed box around it. Callouts provide specific instructions for each field:

- AWB番号※:** A callout box states 'AWB、HAWB、MAWBまたは未ラベル番号を入力' (Enter AWB, HAWB, MAWB, or unlabeled number). The example input is '123 - 12345675'.
- 指定情報:** A callout box lists the following codes and their meanings:
 - スペース: 概要情報
 - SMRY: 概要情報
 - ENTS: 搬入伝票情報
 - BNDI: 搬入情報
 - BNDO: 搬出情報
 - BOND: 蔵置情報
 - ALBN: 保税蔵置場情報
 - CUST: 税関手続情報
 - PORT: 空港情報
 - FLIT: 搭載情報
 - BLDU: ULD積付情報
 - EDNO: システム外許可・承認番号情報
 - KARI: 仮陸揚情報
 - HIST: 履歴情報
- 保税蔵置場:** A callout box states '指定情報が下記の場合は保税蔵置場を入力' (If the designation information is the following, enter the bonded warehouse). The listed cases are:
 - 「BNDI」(搬入情報)
 - 「BNDO」(搬出情報)
 - 「BOND」(蔵置情報)
- 指定情報:** A callout box states:
 - (1) 指定情報が「FLIT」(搭載情報)の場合は入力
 - (2) 指定情報が「KARI」(仮陸揚情報)で仮陸揚情報の一般貨物を照会したい場合は入力

利用可能者:

- 税関、航空貨物代理店、保税蔵置場
通関業、混載業、航空会社、輸出入者

照会結果は次頁を参照

- AWB番号等单位で概要情報の照会をすることができます。

■ IGS業務 概要情報(共通部上段)の照会出力項目

共通部 繰返部

AWB番号* 指定情報 空港 蔵置場 種別 貨物識別

積込港 仕向地 MAWB仕向地 SPC 貨物種別

移送表示 総個数 総重量 KGM 品名 特定輸出

荷送人 輸出入者コード
法人番号

コード 貨物情報登録表示 貨物情報登録件数

分割枝番 搬入伝票番号 /

混載情報
ジョイント表示 混載業 略称 MAWB

混載仕立年月日 / バラ個数

ULD積付情報
分割積付件数

ULD番号	積付個数	保税蔵置場

**AWB:AWB
HAWB:HAWB
MAWB:MAWB
NONL:未ラベル貨物**

**MAN:手作業移行
STP:差止貨物
END:全量搭載(搬出)完了済
CLR:全量許可済
SSP:訂正承認保留表示
CHG:海上貨物から切替中**

**N:一般輸出貨物
R:積戻し貨物
K:仮陸揚貨物
C:社用品貨物
T:システム外許可済貨物**

I:輸入からの移送貨物

J:ジョイント混載

■ IGS業務 概要情報(共通部下段)の照会出力項目

搭載便情報

空港コード

NRT

分割搭載件数

1

航空会社

Z4

便名

Z41112 / 17JAN

搭載完了年月日

2014/01/17

搭載完了処理日時

2014/01/17 - 18:46

割当個数

10

取卸地

LAX

マニフェスト作成済表示

☐

搭載完了表示

☐

空港コード

分割搭載件数

航空会社

便名

搭載完了年月日

搭載完了処理日時

/ / - :

割当個数

取卸地

マニフェスト作成済表示

☐

搭載完了表示

☐

システム外許可・承認番号情報

件数

他関E/D番号

/ / /

AWB情報

個数

重量

積込港

仕向地

仮陸揚情報

積込港

更新情報

日時	業務コード	利用者コード
2014/01/17 - 18:46	1CU	J1AB0
2014/01/17 - 18:45	1FU	J1AB0
2014/01/17 - 18:41	ULA	J1AB0
2014/01/17 - 18:38	BIL01	J1AB0
2014/01/17 - 18:37	EXA01	J1HC1
2014/01/17 - 18:34	EDC	J1TC1
2014/01/17 - 18:33	BIL01	J1HC1
2014/01/17 - 18:32	CDB01	J1AB0

便名部6桁+日付部5桁
(例:ABC001/01OCT)

貨物識別がHAWBまたはMAWBの場合に出力
T:全量搭載完了済
P:一部搭載完了済

照会貨物にかかる処理状況が時系列で表示
・最新更新業務 : 業務コードを表示
・最新更新利用者 : 利用者コードを表示

■ IGS業務 概要情報(繰返部)の照会出力項目

共通部

繰返部

1 / 9

01 保税蔵置場情報
 蔵置場 1A99W 棟記号 蔵置総個数 1 搬出可個数 1 搬出不可個数
 バラ個数 1 ULD積付個数 AWB受渡書番号
 搬入情報
 分割搬入件数 1 枚番 00 搬入日時 2017/08/07 - 10:38 搬入個数 1 搬入重量 30.0 KGM
 事故 事故確認済表示 車上通関表示 OLT番号
 搬出情報
 分割搬出件数 枚番 搬出日時 / / - : 搬出個数 搬出重量
 LDR 搬出先 トラック番号 ULD積付表示
 税関手続情報1
 分割件数 枚番 手続者 手続・許可承認種別 特定輸出申告表示
 E/D番号 申告日時 / / - : 許可日時 / / - :
 個数 検査表示 要搭確表示 許可後の手続き中表示 運送先・積込港
 税関手続情報2
 分割件数 枚番 手続者 手続・許可承認種別 E/D番号
 手続・許可承認等日時 / / - : 個数 事故貨物 積込港
 取扱終了日時 / / - : 取扱確認表示

* : 税関確認済

- AWB番号等单位で搬入伝票情報の照会をする事ができます。

AWB番号*		123 - 12345675		指定情報	▼	空港		蔵置場		種別	END	貨物識別	AWB
積込港	NRT	仕向地	LAX	MAWB仕向地	T11	SPC		貨物種別	N				
移送表示	☐	総個数	10	総重量	100.0	KGM		品名	PARTS				

01	枝番	00	搬入伝票番号	1027563	貨物種別	N	搬入予定個数	10	搬入予定重量	10			
			搬入確認実施予定者	J1HC1	搬入予定年月日	2014/01/17			通関依頼先	JTTC1			
			申告予定年月日	/ /	搬入時申告表示		搬入状況	A	保税運送承認等番号				

02	枝番		搬入伝票番号		貨物種別		搬入予定個数		搬入予定重量				
			搬入確認実施予定者		搬入予定年月日	/ /			通関依頼先				
			申告予定年月日	/ /	搬入時申告表示		搬入状況		保税運送承認等番号				

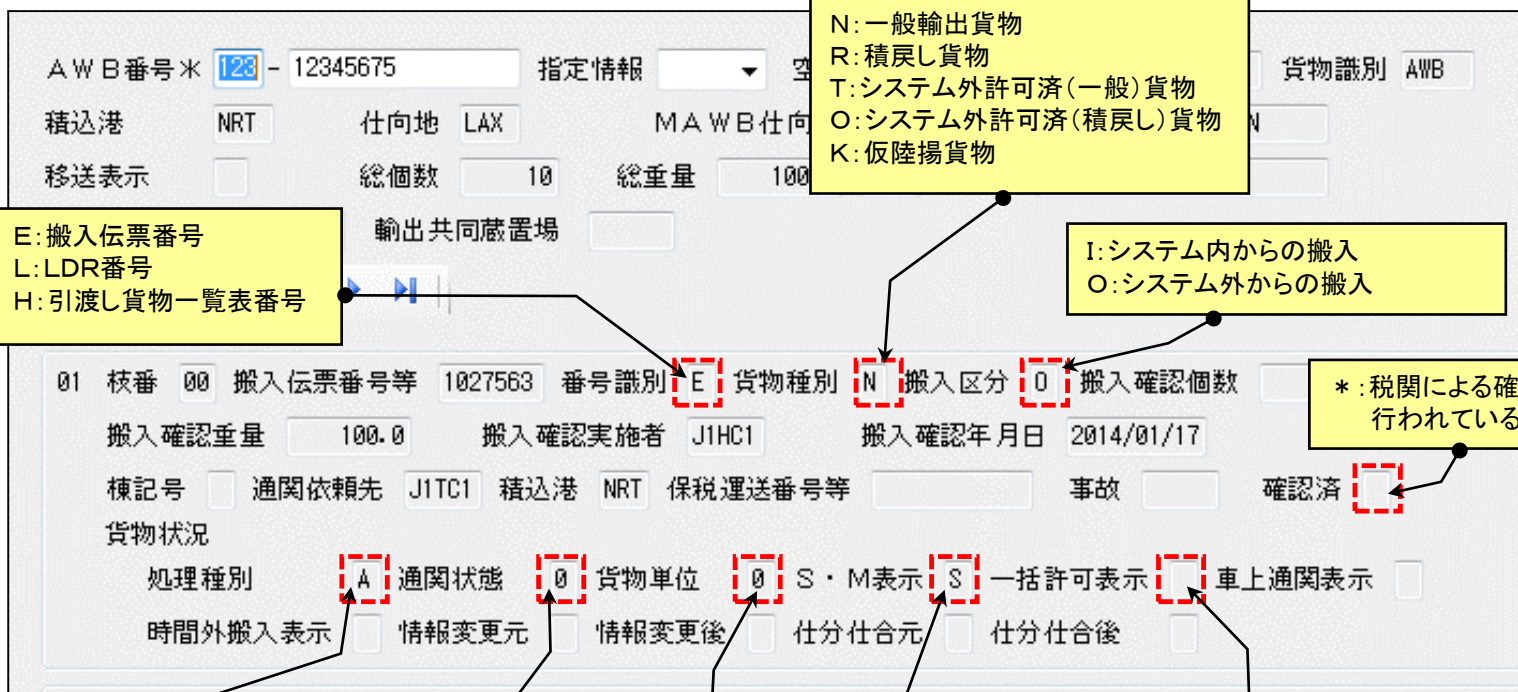
A:一括搬入確認登録済
P:個別搬入確認登録済
X:一括搬入確認取消済

- ①CDB等を分割で行った場合は、枝番出力
- ②搬入予定個数と総個数が同一の場合は、「00」を出力

N:一般輸出貨物
R:積戻し貨物
T:システム外許可済(一般)貨物
O:システム外許可済(積戻し)貨物
K:仮陸揚貨物

保税蔵置場への搬入時、申告する旨が登録されている場合は、「*」を出力

- AWB番号等单位で選択した保税蔵置場の搬入情報の照会をすることができます。



AWB番号 * 123 - 12345675 **指定情報** **貨物識別** AWB

積込港 NRT **仕向地** LAX **MAWB仕向** **移送表示** **総個数** 10 **総重量** 100

輸出共同蔵置場

E: 搬入伝票番号
L: LDR番号
H: 引渡し貨物一覧表番号

01 枝番 00 **搬入伝票番号等** 1027563 **番号識別** E **貨物種別** N **搬入区分** 0 **搬入確認個数** **搬入確認重量** 100.0 **搬入確認実施者** J1HC1 **搬入確認年月日** 2014/01/17

棟記号 **通関依頼先** J1TC1 **積込港** NRT **保税運送番号等** **事故** **確認済** *

貨物状況

処理種別 A **通関状態** 0 **貨物単位** 0 **S・M表示** S **一括許可表示** **車上通関表示**

時間外搬入表示 **情報変更元** **情報変更後** **仕分仕合元** **仕分仕合後**

N: 一般輸出貨物
R: 積戻し貨物
T: システム外許可済(一般)貨物
O: システム外許可済(積戻し)貨物
K: 仮陸揚貨物

I: システム内からの搬入
O: システム外からの搬入

A: 一括搬入確認登録済
P: 個別搬入確認登録済

0: 申告前または許可済
1: 申告中
2: 許可後訂正要表示

0: パラ貨物
1: ULD積付貨物

S: システム通関
M: マニュアル通関

*: 税関による確認が行われている場合

システムによる分割不可で、マニュアル分割を行い、その分、すべて許可された旨(一括許可表示)が登録されている場合は、「*」を出力

- AWB番号等单位で選択した保税蔵置場の搬出情報の照会をすることができます。

AWB番号 * 123 - 12345675 **指定情報** **空港** **蔵置場** **種別** END **貨物識別** AWB

積込港 NRT **仕向地** LAX **MAWB仕向地** T11 **SPC** **貨物種別** N

移送表示 **総個数** 10 **総重量** 100.0 KGM **品名** PARTS

搬出元保税蔵置場 1HAC1

I: 輸入からの移送貨物 /8 ▶▶▶

I: システム内からの搬入
O: システム外からの搬入

N: 一般輸出貨物
R: 積戻し貨物
K: 仮陸揚貨物
C: 社用品貨物
T: システム外許可済貨物

01 枝番 01 LDR 1027574	搬出種別 I	搬出区分 J
搬出確認個数 10	搬出確認重量 100.0	搬出確認実施者 J1HC1
搬出確認年月日 2014/01/17	搬出先保税蔵置場 1AAB0	搬入確認実施予定者 J1AB0
搬入確認個数 10	搬入状況コード A	
時間外搬出表示	トラック番号	

A: 一括搬入確認登録済
P: 個別搬入確認登録済
X: 一括搬入確認取消

スペース: 通常搬出
J: 自社運送
T: 保税運送(仮陸揚貨物)
F: 不積返送
R: 保税運送(積戻し貨物)
2: トランスファー(他航空会社への移動)
D: 内貨引取
H: 携帯貨物
M: 滅却
B: 亡失
O: その他
A: 未通関貨物搬出
(輸出申告可能航空会社蔵置場向け)
E: 保税運送(仮陸揚貨物)

- AWB番号等单位で選択した保税蔵置場の蔵置情報の照会をする事ができます。

AWB番号*		123 - 12345675		指定情報	▼	空港		蔵置場		種別	END	貨物識別	AWB
積込港	NRT	仕向地	LAX	MAWB仕向地	T11	SPC		貨物種別	N				
移送表示	☐	総個数	10	総重量	100.0	KGM	品名	PARTS					
保税蔵置場	1HAC1	訂正保留表示	☐	棟記号		輸出共同蔵置場		蔵置総個数	0				
ULD積付対象貨物有表示	☐	搬入加算個数	10	搬出加算個数	10	バラ個数	0						
ULD積付個数	0	AWB受渡書番号		出仮到着個数	0								
搬出可能個数合計	0												
搭載空港	NRT	許可個数	0										
蔵置されているすべての貨物が積付けられていない場合は「*」を出力				訂正承認保留の旨が登録されている場合は、「*」を出力									
積戻し貨物保税運送承認個数	0	不積返送承認個数	0										
未通関(内貨)個数	0	その他の搬出承認個数	0										
搬出不可個数合計	0												
事故未確認個数	0	積戻し未通関個数	0										
移動禁止個数	0	通関中個数	0										

- AWB番号等单位で保税蔵置場毎の搬出入情報を照会することができます。

A W B 番号 *		123	-	12345675	指定情報	▼	空港		蔵置場		種別	END	貨物識別	AWB
積込港	NRT	仕向地	LAX	M A W B 仕向地		T11	SPC		貨物種別	N				
移送表示	☐	総個数	10	総重量	100.0	KGM	品名	PARTS						

保税蔵置場	棟記号	搬入年月日	搬出年月日	- 時刻	L D R 番号	搬入個数	
01	1HAC1	☐	2014/01/17	2014/01/17	18:37	1027574	10
02	1AAB0	☐	2014/01/17	2014/01/17	18:46		10
03		☐	/ /	/ /	.		

システムに登録された当該保税蔵置場からの貨物搬出(搭載)時刻を出力
(分割搬出(搭載)の場合は、最新の時刻を出力)

当該蔵置場からの貨物搬出場合は、LDR番号を出力
(分割搬出の場合は、最新のLDR番号を出力)

- AWB番号等单位で税関手続情報を照会することができます。

【手続種別コード】

(1桁目)

L	大額
S	少額

(2桁目)

E	輸出申告
R	積戻し申告
T	特定輸出申告
G	展示等積戻し申告
N	特定委託輸出申告
M	特定製造貨物輸出申告

(3桁目)

A	後記以外
B	車上通関
C	緊急通関
D	車上・緊急通関
E	用途外
F	車上・用途外
G	米軍払い下げ
H	車上・米軍払い下げ
J	MDA
K	車上・MDA
L	外交官
M	車上・外交官

AWB番号 * 123 - 12345675 指定情報 空港 蔵置場

積込港 NRT 仕向地 LAX MAWB仕向地 T11 SPC

移送表示 総個数 10 総重量 100.0 KGM 品名 PARTS

01 分類 A 種別 SEA 番号 12230588520 税関 1M 手続者 J1TC1

保稅蔵置場 THAC1 搬入枚番 00 個数 10 事故貨物 搭載 *

システム通関情報

申告年月日 2014/01/17 許可年月日 2014/01/17

訂正届年月日 / / 検査 要搭確 * 訂正進行管理記号

届出税関 届出者 個数変更 積込港変更 不積返送 最新積込港 NRT

搬入前申告審査終了日時 / / - : 状態

許可・承認等情報

許可年月日 / / 取消年月日 / /

積込港 到着地 減免種別 LDR

貨物取扱情報

取扱承認年月日 / / 取扱開始日時 / / - :

取扱終了日時 / / - : 取扱確認日時 / / - :

仕分仕合AWB番号 - / - / - / - / - / -

手続種別が以下の場合に事故貨物を出力
 ZIK: 事故承認
 AHN: 貨物取扱届(内点)
 AHG: 貨物取扱届(仕分け・仕合せの後)
 AHZ: 貨物取扱届(仕分け・仕合せの前)

*: 搭載確認済
 (システム外積地のときは搬出)

(1) 1~3桁目は手続種別コード
 (2) 4桁目には以下を出力
 B: OBC貨物
 S: SP貨物(スモールパッケージ)
 スペース: その他

- 1: 輸出許可内容変更申請事項登録がされている
- 2: 輸出許可内容変更申請がされて承認前である
- 3: 輸出許可内容変更申請承認済である
- 4: 輸出取止め再輸入申告事項登録がされている
- 5: 輸出取止め再輸入申告がされて許可前である
- 6: 輸出取止め再輸入申告許可済である

*: 輸出(積戻し)許可までに当該申告貨物が検査指定有

- AWB番号等单位で各空港情報を照会することができます。

AWB番号 * - 指定情報 空港 蔵置場 種別 貨物識別

積込港 仕向地 MAWB仕向地 SPC 貨物種別

移送表示 ☐ 総個数 総重量 KGM 品名

1 / 4

01 搭載空港 貨物種別

積戻 ☐ 仮陸揚 ☐ 社用品 ☐ 要搭確 ☐ システム外許可済 ☐

スプリット ☐ 搭載便数 全量便割当済 ☐ 搭載完了表示 ☐

搭載加算個数 便割当加算個数

該当空港においてスプリット貨物の場合は、搭載便数を出力

* : 当該空港で搭載完了の場合

S : 当該空港でスプリット貨物の場合

* : 当該空港で便割当が全量で行われた場合

- AWB番号等单位で指定した空港の搭載情報を照会することができます。

AWB番号*		123 - 12345675		指定情報	▼	空港		蔵置場		種別	END	貨物識別	AWB
積込港	NRT	仕向地	LAX	MAWB仕向地	T11	SPC		貨物種別	N				
移送表示	☐	総個数	10	総重量	100.0	KGM		品名	PARTS				
空港名	NRT												

01	航空会社	Z4	便名	Z41112 / 17JAN	積込港	NRT
	割当個数	10	割当重量	100.0	搭載完了日	2014/01/17
	manifestページ番号		要搭確HAWB有	☐	要搭確HAWB確認済	☐
	ULD積付有	*	バラ積有	☐	搭載蔵置場	1AAB0
	個数	10	重量	100.0	取卸地	LAX

バラ貨物がある場合は、「*」を出力

貨物識別がMAWBで、かつそのMAWBに要搭確のHAWBが関連付けられている場合は、「*」を出力

以下をすべて満たす場合に「*」を出力
 (1) 当該貨物がMAWBである
 (2) MAWBに要搭確のHAWBが関連付けられている
 (3) 要搭確のHAWBが、すべて搭載完了となっている

- AWB番号等单位で積付したULD情報を照会することができます。

AWB番号※ - 指定情報 空港 蔵置場 種別 貨物識別

積込港 仕向地 MAWB仕向地 SPC 貨物種別

移送表示 ☐ 総個数 総重量 KGM 品名

1 / 5

01 ULD番号

積付個数 積付重量 積付作業者

積付結果確認年月日 保税蔵置場 未搭載表示 ☐

搭載完了表示 ☒ 便名 空港コード

ULD番号

積付個数 積付重量 積付作業者

積付結果確認年月日 保税蔵置場 未搭載表示 ☐

搭載完了表示 ☐ 便名 空港コード

未搭載の場合、「*」を出力

CLA業務等搭載完了登録が行われている場合「*」を出力

- AWB番号等单位で履歴情報を照会をする事ができます。

AWB番号※ - 指定情報 空港 蔵置場

更新年月日	更新業務	更新利用者	更新年月日	更新業務	更新利用者
001 2014/01/17 - 18:46	1CU	J1AB0	002 2014/01/17 - 18:45	1FU	J1AB0
003 2014/01/17 - 18:41	ULA	J1AB0	004 2014/01/17 - 18:38	BIL01	J1AB0
005 2014/01/17 - 18:37	EXA01	J1HC1	006 2014/01/17 - 18:34	EDC	J1TC1
007 2014/01/17 - 18:33	BIL01	J1HC1	008 2014/01/17 - 18:32	CDB01	J1AB0
009 / / - :			010 / / - :		
011 / / - :			012 / / - :		
013 / / - :			014 / / - :		

直近

過去

過去100件まで照会可能となっております。

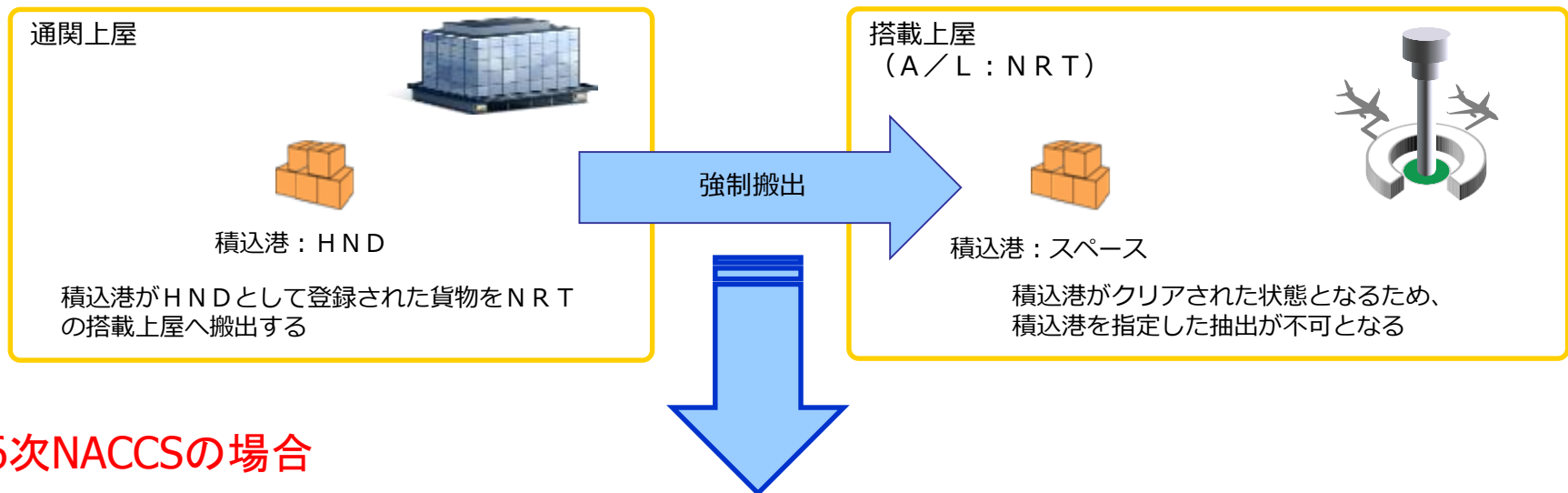
第6次NACCSでは、強制搬出により積込港がクリアとなっていた貨物を照会することが可能となります。

Attention !

第6次NACCS更改に伴うIWH業務の仕様変更について

5次NACCSの場合

実際の積込港と異なる空港地域への貨物の搬出は強制搬出を行うが、強制搬出を行うとAWB単位に保持する積込港の情報がクリアされ、IWH業務で積込港を指定した場合も貨物情報の照会が出来ないという事象がある。



6次NACCSの場合

IWH業務で積込港に「XXX」を入力することにより、積込港がスペースの貨物だけを抽出して一覧照会結果を出力する。

保税蔵置場在庫状況照会(輸出)(IWH)の変更点②

IWH 照会パターン番号「05」の場合(入力例)

照会パターン毎の入力項目はNACCS掲示板のIWH「概要」、「入力項目」を確認してください。

照会パターン番号※ 05 ▼ 保税蔵置場※ 1MWXX 重量指定 ☐ 棟記号 ☐ 代理店 ☐

混載業 ☐ 利用者略称 ☐ 航空会社 Z4 受託社 ☐ 積込港 XXX 便名 /

仕向地域 識別 要強制搭載完了 ☐ 全量許可済 ☐ 下一桁

積込港「XXX」の入力により、強制搬出後の貨物のみを照会可能とする。

IWH 入力項目表

業務名(業務コード)		保税蔵置場在庫状況照会(輸出)(IWH)														コード	入力条件/形式
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰上	繰下	条件									
1		入力共通項目		an	398			M									
2		照会パターン番号	SPN	an	2			M									照会パターン番号を「01」～「09」の数字で入力
8		混載業利用者略称	CUR	an	3			C									(1) 利用者略称単位に照会する場合は、利用者略称を入力 (2) 照会パターン番号が「03」の場合は、必須入力
9		航空会社	ALC	an	2											航空会社コード	(1) 航空会社単位に照会する場合は、航空会社を入力 (2) 照会パターン番号が「05」「06」「07」「08」の場合のみ入力可能 (3) 上記以外の照会パターン番号の場合は、入力不可 (4) 入力者が委託を受けていない航空会社の場合は、自社であること (5) 入力者が航空会社の場合で、積込港に「XXX」を入力する場合は、入力不可
10		受託航空会社	JAL	an	5			C									(1) 受託航空会社単位に照会する場合は、受託航空会社の利用者を入力 (2) 照会パターン番号が「04」の場合は、必須入力 (3) 上記以外の照会パターン番号の場合は、入力不可 (4) 入力者が航空会社の場合は、同一の利用者であること (5) 入力者が航空会社の場合で、積込港に「XXX」を入力する場合は、入力不可
11		積込港	ACD	an	3			C								IATAコード	(1) 航空会社単位または受託航空会社単位に照会する場合は、積込港を入力 (2) 照会パターン番号が「04」「05」「06」「07」「08」の場合のみ入力可能 (3) 上記以外の照会パターン番号の場合は、入力不可 (4) 航空会社または受託航空会社に入力がある場合は、必須入力 (5) 入力者が航空会社の場合で、入力者の所属する空港コードと異なる積込港の貨物を照会する場合、「XXX」を入力 (6) 照会パターン番号が「06」「08」の場合は、「XXX」は入力不可

積込港「XXX」の入力により、強制搬出後の貨物のみを照会可能とする。

輸出貨物取扱業務について

蔵置中の保税貨物に行う各種業務一覧(輸出)

AHS 輸出貨物取扱登録 (仕分け)	保税蔵置場等に蔵置されている輸出貨物(積戻し貨物含む)について、「改装」及び「仕分け」を行う場合に登録する。 取消しを行う場合は「輸出貨物扱取消(AHC)」業務で行う。
AHT 輸出貨物取扱登録 (仕合せ)	保税蔵置場等に蔵置されている輸出貨物(積戻し貨物含む。)について「仕合せ」を行う場合に登録する。 取消しを行う場合は「輸出貨物扱取消(AHC)」業務で行う。
CCH 輸出貨物取扱確認登録	「輸出貨物取扱登録(仕分け)(AHS)」業務または「輸出貨物取扱登録(仕合せ)(AHT)」業務の入力者が保税蔵置場で仕分け・仕合せ作業等を行った場合に、保税蔵置場により、その取扱いを確認した旨を登録する。
AHC 輸出貨物取扱取消	通関業等により行われた「輸出貨物取扱登録(仕分け)(AHS)」業務または「輸出貨物取扱登録(仕合せ)(AHT)」業務を取り消す場合に行う。
AHN 輸出貨物取扱登録 (内容点検)	保税蔵置場等に蔵置されている貨物について、「内容点検」及び「その他の手入れ」を行う場合に登録する。 本業務による取消しは税関または保税蔵置場がAHN01業務から行う。
AHU 輸出貨物情報仕分け登録	情報仕分けの対象となる輸出貨物情報を呼出し、搬入単位の分割を行う。 訂正、削除の場合は、再度、本業務または「輸出貨物情報仕合せ登録(AHV)」業務を行う。
AHV 輸出貨物情報仕合せ登録	保税蔵置場に蔵置されている貨物について、搬入単位と異なる単位で「輸出申告(EDC)」業務を行う場合に、搬入単位の統合を行う。 訂正、削除の場合は、再度、本業務または「輸出貨物情報仕分け登録(AHU)」業務を行う。

AHS(輸出貨物取扱登録(仕分け)呼出し) 入力画面

管轄税関 ☐ 取扱蔵置場 ☐ 取扱種別* 仕分数

取扱番号

<仕分元> 輸入 AWB番号

<仕分後> 識別 AWB番号

1

- (1)取扱種別が「S」の場合
仕分け後の貨物数(1~8)を入力
- (2)取扱種別が「D」の場合
仕分け後の貨物数(2~8)を入力

取扱種別が「R」の場合、
貨物取扱番号を入力

S:他貨物への変更、仕分け(ラベルチェンジ)
H:個数の変更
D:同一貨物内の仕分け
R:時間延長

取扱種別が「S」の場合、
仕分け後の貨物識別を入力
A:AWB
H:HAWB
L:未ラベル貨物

- ①1業務で入力可能な仕分け後の
AWB件数は最大8件となります。
- ②1AWB番号に付与する枝番は、
本業務を行う以前に登録されてい
る搬入単位と合わせて最大40とな
ります。(40件を超える搬入情報は
登録できません)

AHS01(輸出貨物取扱登録(仕分け)) 入力画面

管轄税関 ☐ 取扱蔵置場* ☐ 取扱種別* 仕分数

取扱番号 取扱開始日時* - : : 取扱終了日時* / / - : :

<仕分元> AWB番号*

<仕分後> AWB番号

個数 総個数 重量 総重量 品名
SPC 事故 通関業

1

- (1)仕分後貨物の品名を入力
(2)取扱種別が「R」の場合、入力貨物取扱番号で登録されている取扱情報の仕分後貨物の品名を入力

- 以下の場合、入力不可
- ①仕分後貨物識別が「L」の場合
 - ②取扱種別が「S」以外の場合

- ①枝番付きでないこと
- ②AWBの場合は、AWB番号を11桁以内で入力
- ③HAWBの場合は、HAWB番号を16桁以内で入力

取消を行うには、保税業者が
AHC(輸出貨物取扱取消)業
務を行ってください。

- (1)仕分後貨物の個数を入力
(2)取扱種別が「R」の場合、入力貨物取扱番号で登録されている取扱情報の仕分後貨物の個数を入力

- (1)仕分後貨物の重量を入力
(2)取扱種別が「R」の場合、入力貨物取扱番号で登録されている取扱情報の仕分後貨物の重量を入力
(3)整数部6桁、小数部1桁

AHT(輸出貨物取扱登録 (仕合せ)呼出し) 入力画面

管轄税関 ☐ 取扱蔵置場 ☐ 取扱種別* 仕合せ数

取扱番号

取扱種別が「R」の場合は、
貨物取扱番号を入力

取扱種別が「R」以外の場合は、
仕合せ元の貨物数(2~8)を
入力

T: 他貨物との仕合せ
D: 同一貨物内の仕合せ
R: 時間延長

<仕合せ>
識別 A W B 番号

仕合せ後貨物識別が「L」の場合、
入力不可

① 枝番付きでないこと
② AWBの場合は、AWB番号
を11桁以内で入力
③ HAWBの場合は、HAWB
番号を16桁以内で入力

<仕合せ元>
B 番号

A: AWB
H: HAWB
L: 未ラベル貨物

① 1業務で入力可能な仕分け後の
AWB件数は最大8件となります。

② 1AWB番号に付与する枝番は、本
業務を行う以前に登録されている搬入
単位と合わせて最大40となります。
(40件を超える搬入情報は登録できま
せん。)

AHT01(輸出貨物取扱登録 (仕合せ)) 入力画面

管轄税関 ☐ 取扱蔵置場* ☐ 取扱種別* 仕合せ数*

取扱番号 取扱開始日時* - : : 取扱終了日時* / / - : :

<仕合せ> A W B 番号

個数* 総個数 重量* 総重量 品名*

SPC 事故 通関業

<仕合せ元> A W B 番号

取消を行うには、保税業者が
AHC(輸出貨物取扱取消)業
務を行ってください。

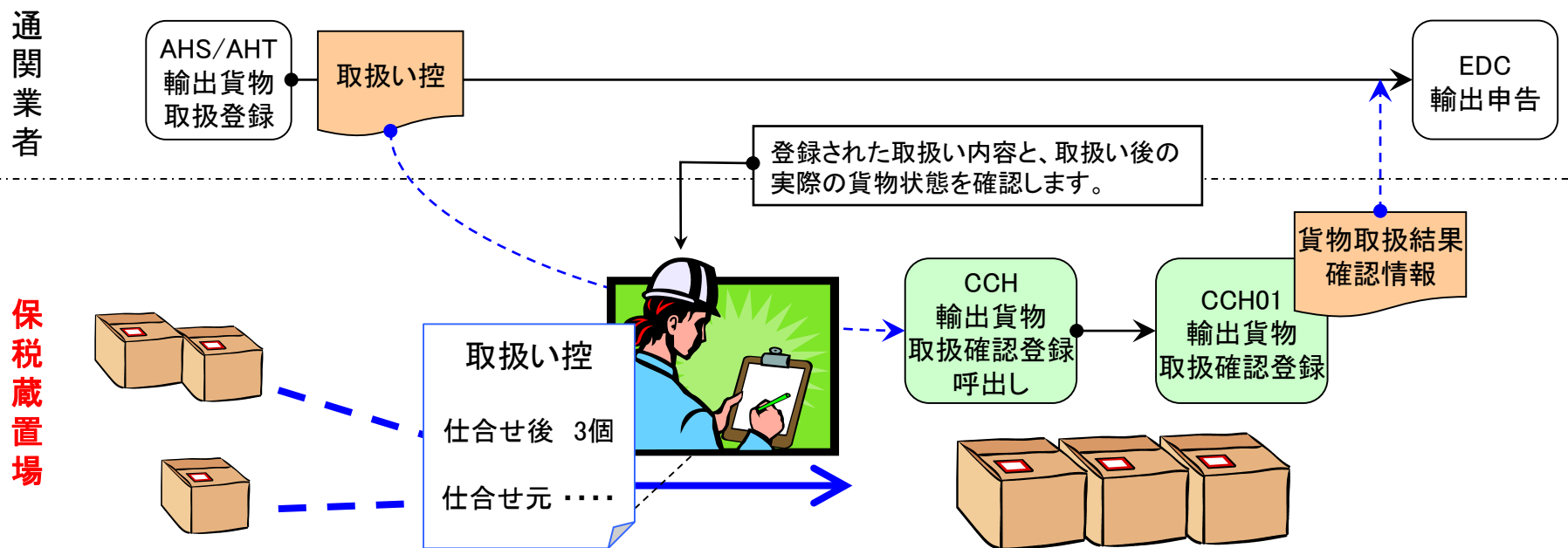
(1) 取扱種別が「T」の場合、仕合せ後の貨物個数を入力
(2) 取扱種別が「D」の場合、仕合せ元の個数を合計して入力
(3) 取扱種別が「R」の場合、入力貨物取扱番号で登録されて
いる取扱情報の仕合せ後貨物の個数を入力

(1) 仕合せ後貨物の品名を入力
(2) 取扱種別が「R」の場合、入力貨物取扱番号で登録されて
いる取扱情報の仕合せ後貨物の品名を入力

(1) 取扱種別が「T」の場合、仕合せ後の貨物重量を入力
(2) 取扱種別が「D」の場合、仕合せ元の重量を合計して入力
(3) 取扱種別が「R」の場合、入力貨物取扱番号で登録されて
いる取扱情報の仕合せ後貨物の重量を入力
(4) 整数部6桁、小数部1桁

■ 輸出貨物取扱確認登録

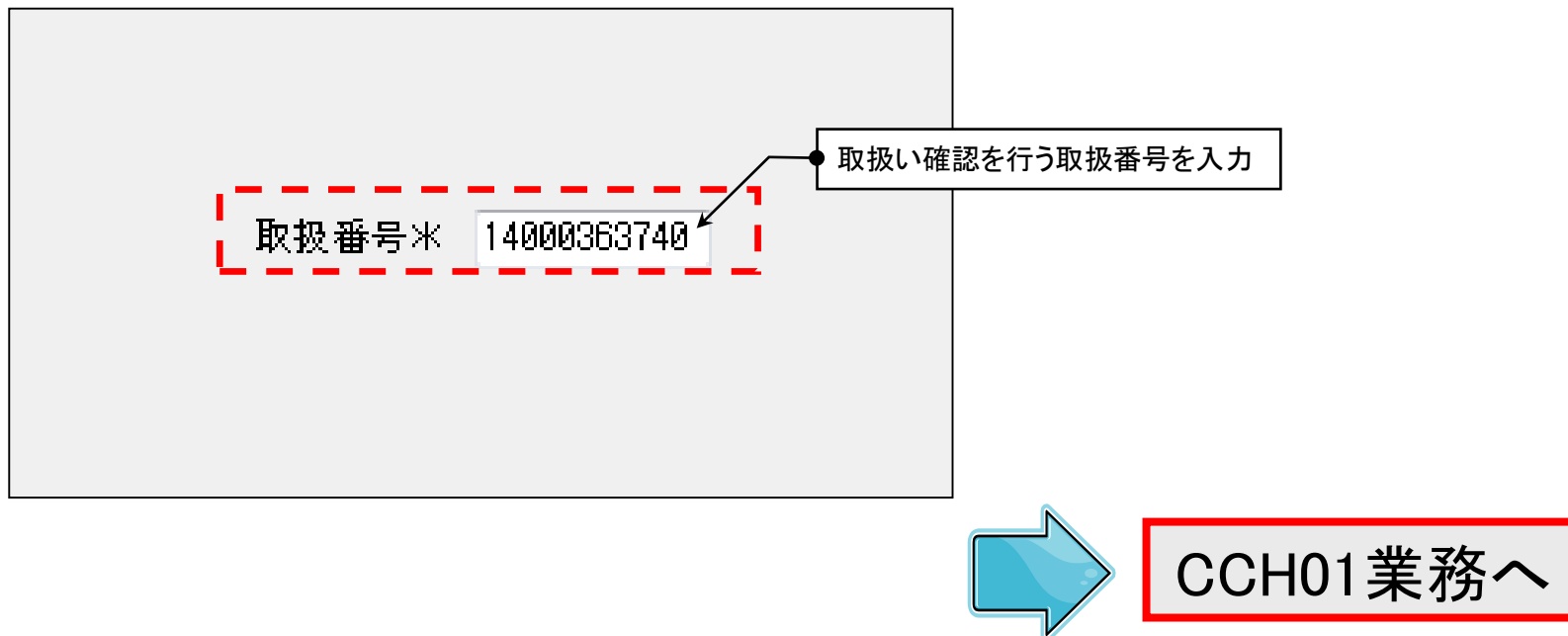
- 貨物取扱番号から輸出貨物取扱情報を読み出し、結果確認の登録を行います。
- CCH業務で貨物情報を読み出した上、CCH01業務により登録します。



保税蔵置場により取扱結果確認の後、後続業務を行うことができます。
輸出許可済貨物での実施では、通関業者の許可内容変更申請が必須になります。



■ CCH業務の入力項目



The diagram illustrates the input process for CCH business. It features a large light gray rectangular area representing the input form. Inside this area, a red dashed rectangle highlights a specific input field. This field contains the text '取扱番号※' (Handling Number ※) followed by the number '14000363740'. A black arrow points from a text box to the number '14000363740'. The text box contains the instruction '取扱い確認を行う取扱番号を入力' (Enter the handling number for confirmation). Below the main input area, a large blue arrow points to the right, leading to a red-bordered box containing the text 'CCH01業務へ' (To CCH01 business).

取扱番号※ 14000363740

取扱い確認を行う取扱番号を入力

CCH01業務へ

■ CCH01業務の入力項目

取扱番号 14000363740 登録者 J1AA7 取扱蔵置場 1AAA7 登録業務 AHS 取扱種別 S 仕分・仕合せ 1

変更 ☐

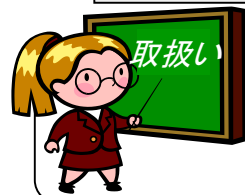
入力された貨物取扱番号で登録されている
 取扱情報DBの内容と確認内容が異なる場合に
 「Y」(差異あり)を入力

仕分けの場合は仕分け元のAWB情報が出力される。
 仕合せの場合は仕合せ後のAWB情報が出力される。
 ※呼出しを行った場合

<仕分元・仕合せ後>		AWB番号	個数	総個数	重量	総重量	品名
		SPC	事故	通関業	E/D番号		
I	☐	333 - 20000116/001	R	50	50	56.7	56.7 HH

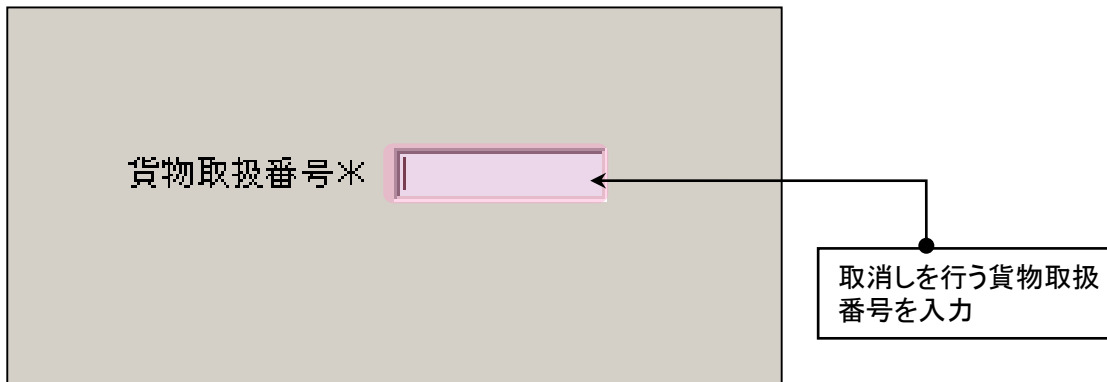
<仕分後・仕合せ元>		AWB番号	個数	総個数	重量	総重量	品名
		SPC	事故	通関業	E/D番号		
1	☐	H NAC - 8989898		50	50	56.7	56.7 TV PARTS
2	☐	-					

仕分けの場合は仕分け後のAWB情報が出力される。
 仕合せの場合は仕合せ元のAWB情報が出力される。
 ※呼出しを行った場合



(総)個数・(総)重量・品名・事故の各項目は、変更表示を差異あり「Y」とした場合にのみ変更することができます。

AHC(輸出貨物取扱取消) 入力画面



貨物取扱番号※

取消しを行う貨物取扱
番号を入力



<本業務が行える期間>

AHS業務またはAHT業務が行われてから、CCH(輸出貨物取扱確認登録)業務が行われる前まで行うことができます。



本業務を行うことにより、輸入または輸出貨物情報の状態をAHS業務またはAHT業務が行われる以前の状態に戻すことができます。

AHN(貨物取扱登録(内容点検)呼出し)入力画面

管轄税関 ☐ 取扱種別* ☐ 取扱蔵置場*

AWB番号 個数

1 -

2 -

内容点検またはその他の手入れの種別を入力
Y: 内容点検
N: その他の手入れ

他所蔵置場所に蔵置されている場合は、
入力必須

AHN01(貨物取扱登録(内容点検))入力画面

取消表示 ☐ 管轄税関 ☐ 取扱種別 ☐ 取扱蔵置場

取扱番号 取扱開始日時 - : : 取扱終了日時 / / - : :

AWB番号 個数 品名 重量 搬入日 SPC 事故

1 ☐ -

2 ☐ -

内容点検等を取り消す
場合は「Y」を入力

内容点検等を取り
消す場合必須入力

対象外とする場合は、先
頭3桁に「XXX」を入力

**本業務の取消しはAHN01業
務で「取消表示:Y」を入力
することにより行います。
(取消は、蔵置場が行うことと
なります)**

AHU(輸出貨物情報仕分け登録呼出し)入力画面

情報仕分けの対象となる貨物が蔵置されている保税蔵置場を入力

保税蔵置場＊ 情報仕分数＊

仕分元AWB番号＊ -

(1) 情報仕分け数を入力
(2) 2～16まで入力可

(1) 情報仕分けの対象となるAWB(HAWB)番号を入力
(2) 分割搬入されている場合は、枝番も併せて入力



本業務は、貨物が搬入されてから、EDC業務が行われる前まで行うことができます。

AHU(輸出貨物情報仕分け登録)入力画面

保税蔵置場＊ 情報仕分数＊

識別	仕分元AWB番号＊	種別	個数	重量	SPC	通関依頼先
	-					
仕分後AWB番号		個数	重量	SPC	通関依頼先	
01						
02						

情報仕分け元AWB番号に特殊貨物記号が登録されている場合は、情報仕分け後の少なくとも1欄には特殊貨物記号を入力



1件のAWB番号で蔵置されている貨物を複数に分けて申告したいときなど。



EDC



EDC

AHV(輸出貨物情報仕合せ登録)入力画面

情報仕合せの対象となる貨物が蔵置されている保税蔵置場を入力

保税蔵置場* 情報仕合せ数*

識別 仕合せ対象A W B 番号* 種別 個数 重量 S P C 通関依頼先

(1) 情報仕合せの対象となるAWB(HAWB)番号を入力
(2) 枝番入力是不可

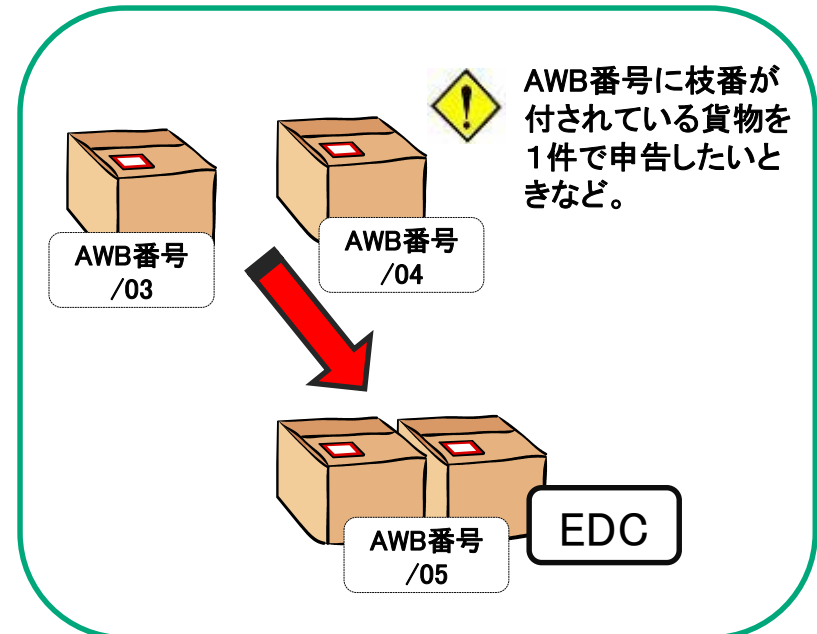
(1) 情報仕合せ数を入力
(2) 2~16まで入力可

情報仕合せの対象となる枝番を入力

仕合せ後A W B 番号 個数 重量 S P C 通関依頼先



本業務は、貨物が搬入されてから、EDC業務が行われる前まで行うことができます。



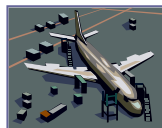
輸入業務概要について

輸入業務フロー(輸入ストレート貨物)

入港前



到着・取卸(搬入)→搬出



搬入→蔵置



通関



搬出



航空会社

ADM01
積荷目録
事前報告

ACH11/ACH
AWB情報
登録

EAW
AWB情報
終了登録

! EAWは便単位での全AWB
突合後、入力可能となる



FLT
SUMMARY

FLT
SUMMARY

突合

航空会社蔵置場等

PKG
貨物確認
情報登録

EPK
貨物確認
情報終了登録

OUT
搬出確認
登録

保税蔵置場

保税蔵置場

BIN
搬入確認
登録

*許可・承認
貨物

OUT
搬出確認
登録

通関業者等



AWB突合後、OLT・IDC等
後続手続きが可能

OLT
保税運送
申告

保税運送
承認通知

IDC
輸入申告

許可・承認
通知

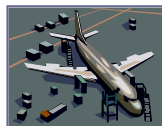
輸入業務フロー(輸入混載貨物)

入港前

到着・取卸(搬入)→搬出

搬入→混載仕分→蔵置

搬出



通関



航空会社

ADM01
積荷目録
事前報告

HDM01
積荷目録
事前報告
(ハウス)

ACH11/ACH
AWB情報
登録

突合

※便単位の扱いは前頁の通り

PKG
貨物確認
情報登録

OUT
搬出確認
登録

航空会社蔵置場等
保税蔵置場

保税蔵置場

BIN
搬入確認
登録

HPK
混載貨物
確認情報登録

OUT
搬出確認
登録

許可・承認
貨物情報

OLT
保税運送
申告

保税運送
承認通知

突合

IDC
輸入申告

許可・承認
通知

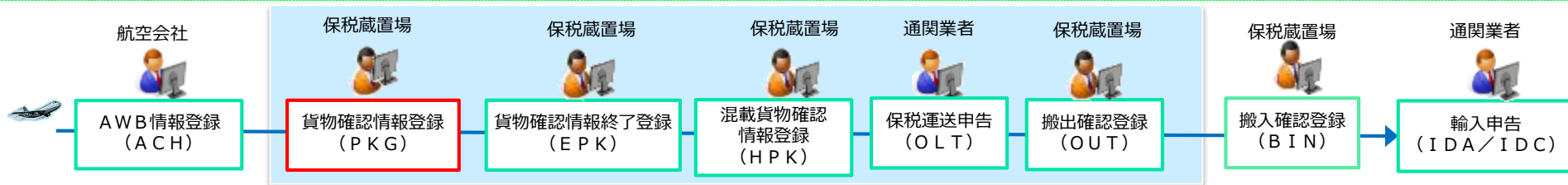
MIC
輸入マニフェスト
通関申告

HCH
HAWB情報
登録

混載業

通関業者等

貨物確認情報登録(PKG業務)について



■ PKG業務の入力項目

到着便名* Z60012 / 16MAY 保税蔵置場 1AAB4 ULD收容 ☐ 差日数 ☐

	AWB番号 ロケーション	U	個数	重量	C	SPC	事故	生鮮	M
1	131 - 79061894	☐	11	3350.0 - KGM	☐	☐	☐	☐	☐
2									
3									

ULD表示
 (1) UDA業務で仕分けたULD
 インタクト貨物の場合は、
 「I」を入力
 (2) UDA業務で仕分けたバラ
 貨物の場合は、「L」を入力
 (3) ULDの場合は、「K」を入力

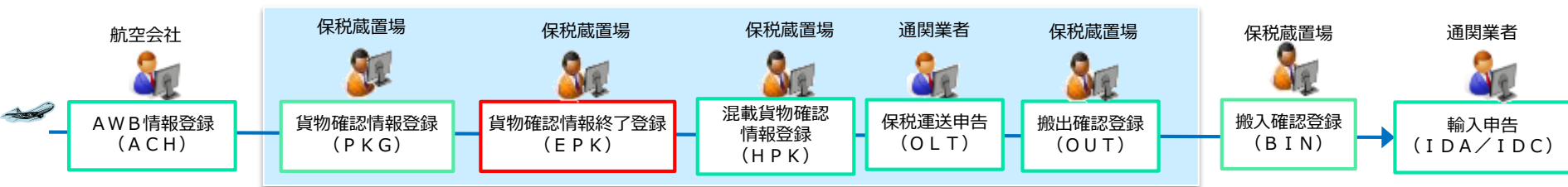
事故コード(業務コード集参照)を入力
 (1) 複数の事故がある場合は、代表とするものを入力
 (2) 税関届出を必要とする事故は、先頭1桁目に「Z」を
 入力
 (3) 税関届出を必要としない民間の事故は、入力自由
 (4) ULDまたはULDインタクト貨物の場合は、入力不可

ULD收容
 ULD貨物でのPKG登録の場合、
 ACH登録を行った到着空港
 コードを入力



輸入申告の予備申告(Z申告)、または保税運送申告自動起動(UDA01業務でのULDインタクト貨物対象)が登録されている場合、本業務の入力により輸入申告の本申告または保税運送申告が自動起動します。

貨物確認情報終了登録(EPK業務)について



■ 貨物確認情報終了登録業務

- 貨物確認情報の1便分の入力終了した旨を登録します。
- EPK業務により実施します。

■ EPK業務の入力内容

到着便名* /

仕分開始年月日・時刻* 9999/99/99 - : 仕分終了年月日・時刻* 9999/99/99 - :

到着空港揚 ☐

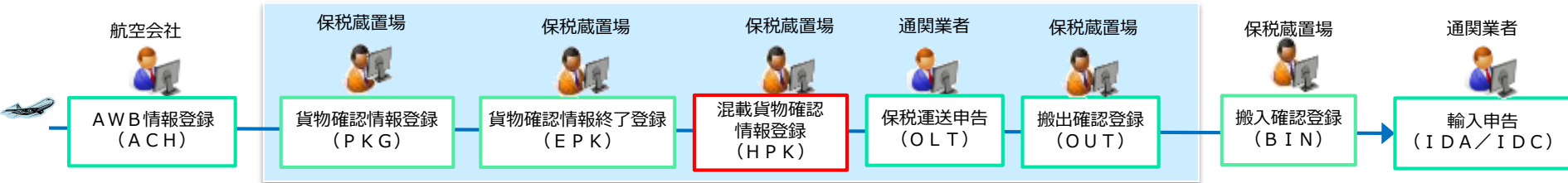
仮陸揚 ☐

他空港向一括保税運送 ☐

社用品 ☐

終了表示
「E」を入力
※貨物種別ごとに終了の登録を行う。

各蔵置場のEPK登録の都度、航空会社へ貨物確認終了情報(PKG END NOTICE)が配信される。航空会社は、配信情報を元に1便単位での貨物確認情報の終了を判断しEAWを登録、各蔵置場へフライトサマリーが配信される。(全B/L突合済みでないとEAW入力時エラー)



■ 混載貨物確認情報登録業務

- 保税蔵置場は、混載仕分けの結果(個数・事故の有無等)をMAWB単位にHPK業務にて登録。
- スプリット到着の場合、HPK業務は到着便毎に登録する。

■ HPK業務の入力内容

MAWB番号* 288 - 111111 孫混載及び無料期間適用表示 ☐

到着便名* ZZ1234 / 24JAN ジョイント ☐ 混載業 ☐

取扱開始日時* 2013/02/15 - 11:00 取扱終了日時* 2013/02/15 - 11:30

	HAWB番号 ロケーション	個数	重量	
1	NAC - 11111	1	10 - KGM	
2	NAC - 22222	1	10 - KGM	
3	END			

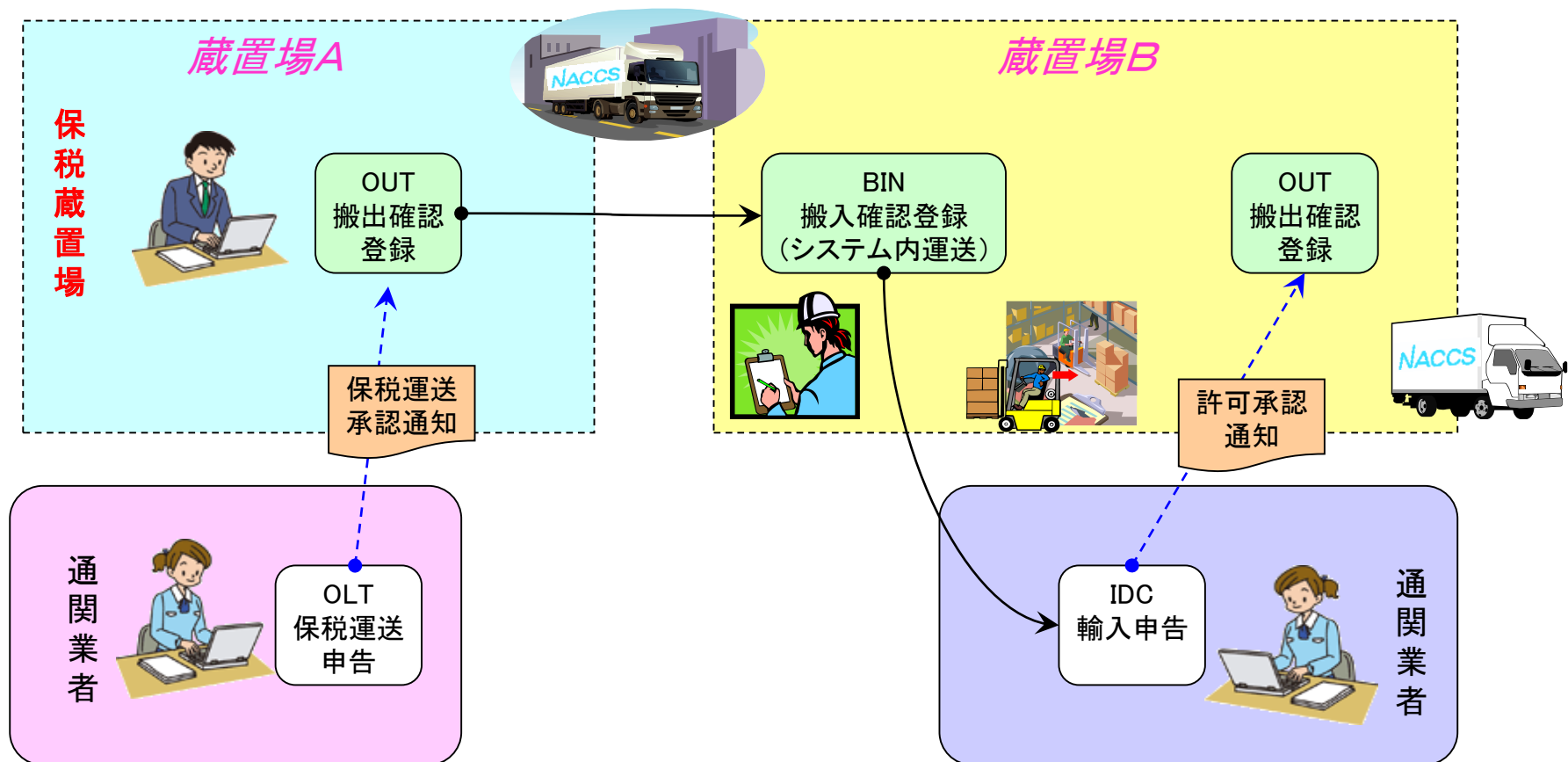
※HAWB番号での確認個数を必須入力

HAWB番号を入力
※入力内容を無効にする場合は先頭3桁に「XXX」を入力する。

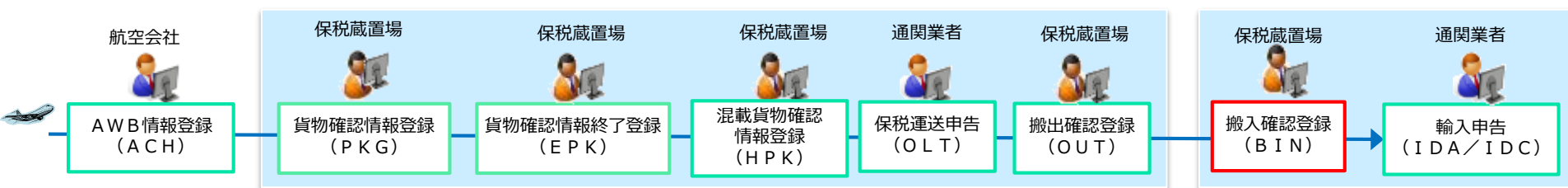
※MAWBにかかる全HAWB情報を入力した場合、「END」を入力

■ 輸入貨物搬出入業務

- ・保税蔵置場への搬入及び搬出した旨を登録します。
 - － OUT: 保税蔵置場から搬出された旨登録します。
 - － BIN : システム内保税蔵置場から保税運送された貨物が搬入された旨登録します。



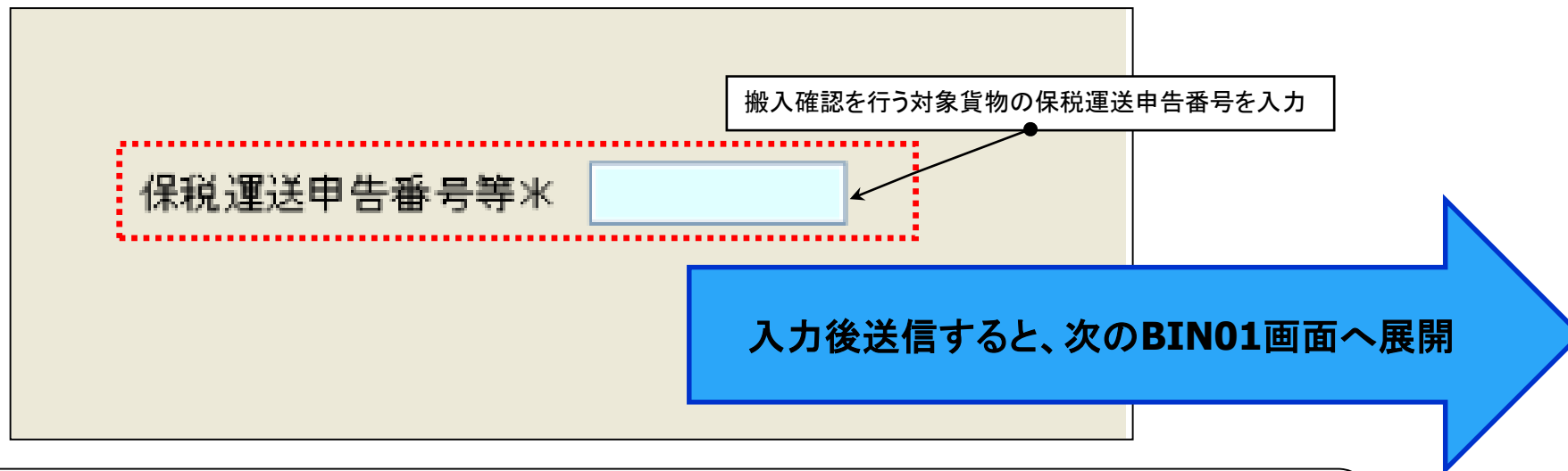
搬入確認登録(BIN業務)について



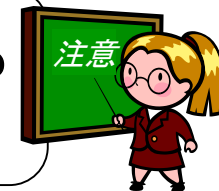
■ 搬入確認登録(システム対象内保税運送)業務

- システム対象内保税蔵置場から保税運送申告等、または貨物移動情報の登録がされた貨物の搬入確認は BIN業務により行います。

■ BIN業務の入力内容



誤った情報が登録されてしまうのを防ぐ為、直接BIN01業務にて登録を行わずに、BIN業務にてAWB情報等呼び出してから登録を行ってください。



■ BIN01業務の入力内容

保税運送申告番号等* 14000019120

搬入開始年月日・時刻* 2011/01/27 - __:__ 搬入終了年月日・時刻* 2011/01/27 - __:__

無料期間適用表示 ☐ 保管料の無料期間を適用する場合は、航空会社コードを入力

AWB番号 ロケーション 発送個数 到着個数 重量 品名 SPC 事故 M

01 333 - 10038313 100 123456.7 LADIES DRESSES

02 -

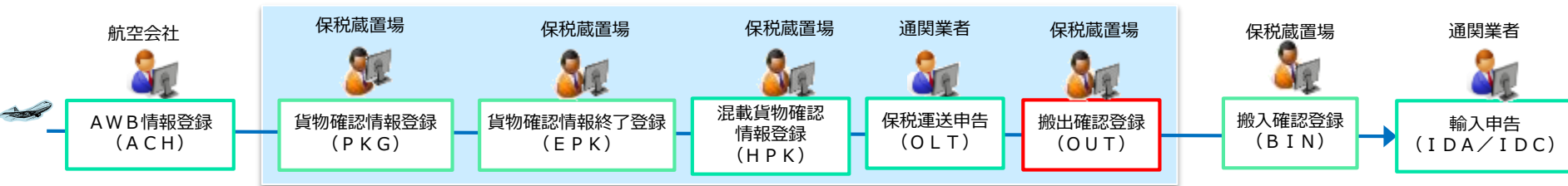
搬入確認を行うAWB番号が間違いなく入力されているか確認してください。

発送個数と到着個数が異なる場合に到着個数を入力。また、事故欄にも該当コードを入力 → 搬入状況通知情報(AAS0110)が入力者と税関へ配信される。

(SAMPLE) 搬入状況通知情報
BOND IN STATUS INFORMATION

AWB NO.	(AFTER) (BEFORE)	PCS	APCS	WEIGHT	COMMODITY	STATUS	SPC
333 10038324		100	99	123,456.7	LADIES DRESSES	ZSHI	
		100		123,456.7	LADIES DRESSES		

搬出確認登録(OUT業務)について



■ 搬出確認登録業務

- 保税蔵置場から搬出した旨を登録します。
- 搬出の取消は本業務により行います。

Attention !

第6次NACCS更改(CUR業務追加)に伴うOUT業務の一部仕様変更箇所について

■ OUT業務の入力内容

搬出年月日※ 2011/01/27 取消表示 集荷業者 ABC 他所蔵置場所

AWB番号 差日数	① 代理店	② 時間外	搬出時刻	③ 支払	④ アディショナルチャージ
01 NAC - 564891	J1FB3		11:30	2	
02 NAC - 564892			11:00	2	1

変更箇所

COPY

搬出の取消しを行う場合は、「X」を入力

(1)時間外の場合:O(オー)
(2)深夜割増料金の追加対象:N

1またはスペース:CREDIT
2:CASH
3:FREE

「F」を入力した場合

①CUR01業務により登録された蔵置料金請求先が自動補完される。
②①以外の場合は輸入申告または保税運送申告等を行った申告者が自動補完される。

参考: 便利機能

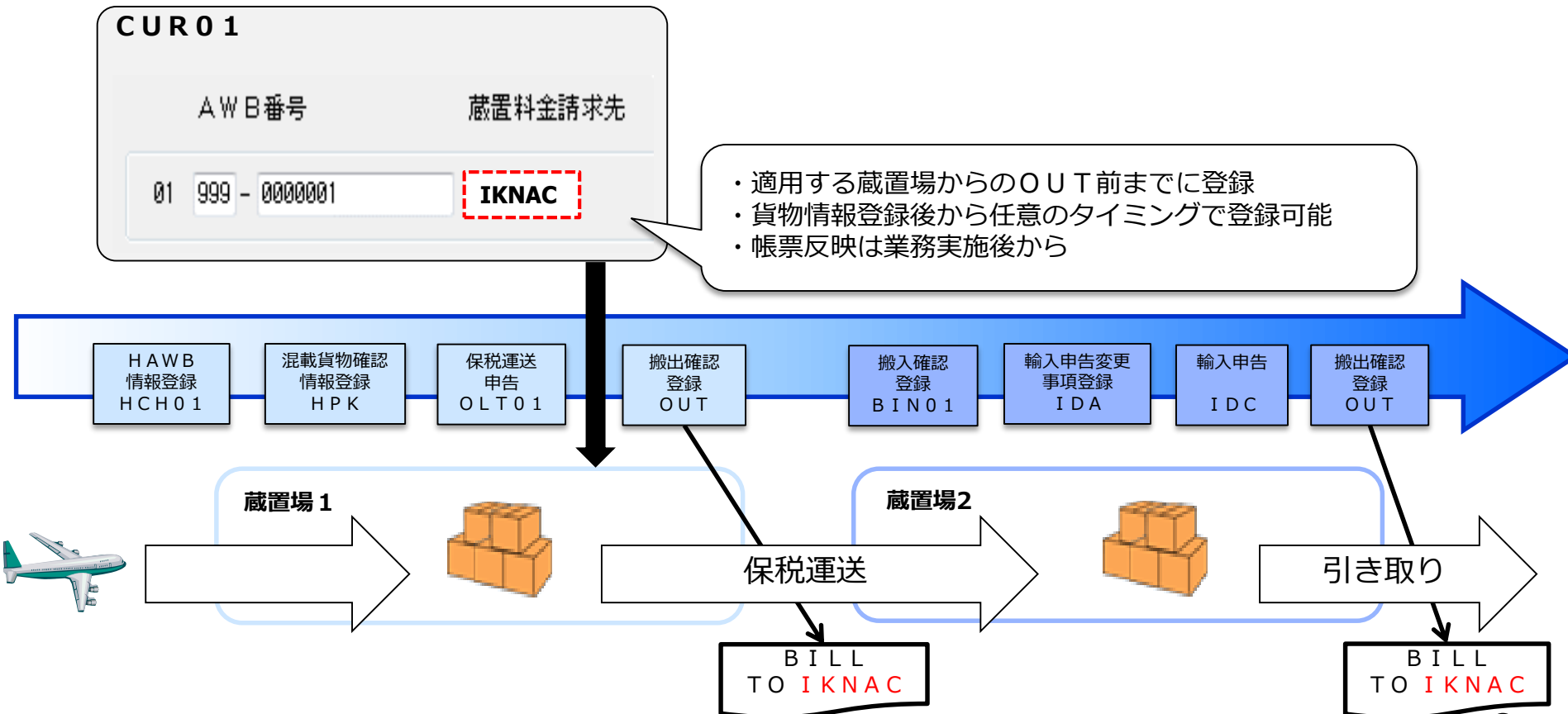
必須箇所を空白にした場合、上位欄の「J1FB3」を自動コピー

システムで蔵置料計算採用の蔵置場では①③は必須、②④は任意入力
※蔵置料計算を行わない場合は、入力不要

蔵置料金請求先登録(CUR01業務)①

第6次NACCSでは、OUT業務を実施する前までにCUR01業務を実施することで、請求先の入力を簡略化できます。

蔵置場1でOUT業務前にCUR01業務でIKNACを登録した例



※蔵置場2の蔵置料金をIJNAC(CUR01で設定した請求先とは別)宛に請求する場合は、
①蔵置場1をOUT後CUR01でIJNACの登録をすることで対応。
②蔵置場2でOUT業務実施時にIJNACを入力することで対応。

蔵置料金請求先登録(CUR01業務)②

CUR01 蔵置料金請求先登録

元に戻す 切り取り コピー 貼り付け

添付ファイルの追加

印刷表示 ☐

同一業務画面でAWB30件分の請求先登録が可能。
AWB番号ごとに蔵置料金請求先コードの入力を行う。

AWB番号

蔵置料金請求先

AWB番号

蔵置料金請求先

01 000 - 12341234

IKNAC

02 000 - 98765432

ZKNAC

03 -

04 -

05 -

06 -

登録内容の訂正を行う場合

CUR業務で該当AWB番号の呼出しを行い、蔵置料金請求先に「訂正後のコード」を入力し送信(上書き)する。

登録内容の取消しを行う場合

CUR業務で該当AWB番号の呼出しを行い、「X」を入力する。

注意

CUR01業務で「蔵置料金請求先」を登録するには、保税蔵置場が事前に保税蔵置場別クレジット扱業者登録(UBC業務)で蔵置料金支払いをCREDITで行う利用者の利用者コードを登録しておく必要があります。

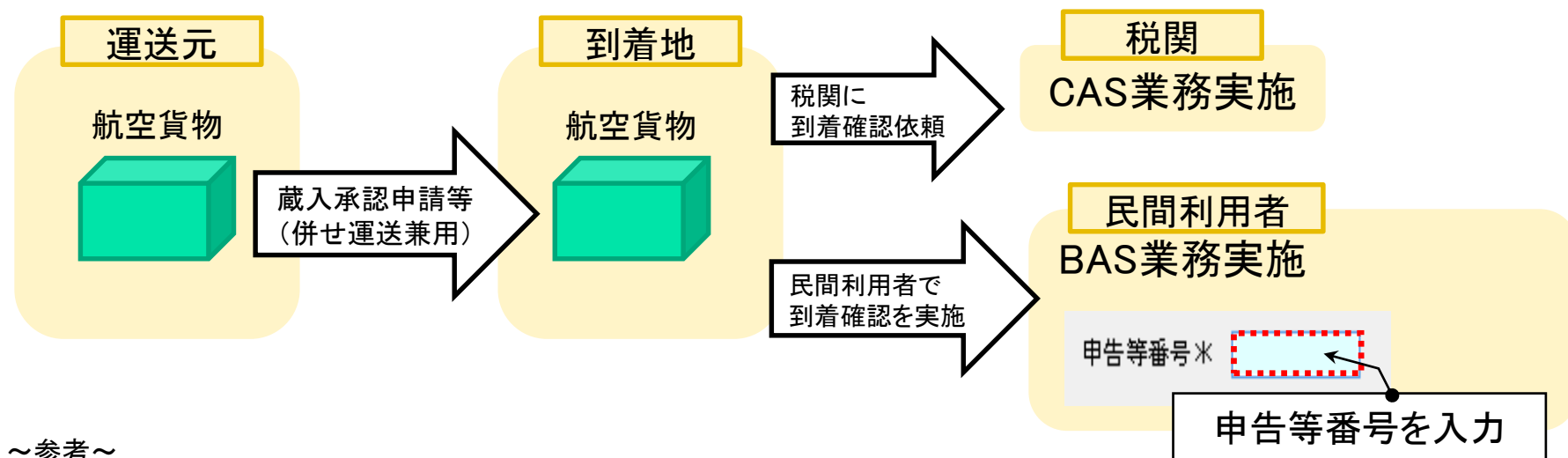
■ 蔵入等航空貨物到着確認業務

Attention !

2018/12/20実施のプログラム変更にて新設

- 航空貨物においてシステムで併せ運送兼用で行われた、(1)蔵入承認申請、(2)移入承認申請、(3)総保入承認申請、(4)展示等申告について蔵入等先保税地域を管理する利用者が到着確認した旨を登録します。

- ・従来、該当貨物の到着確認は、税関でのCAS業務により登録されていました。
- ・BAS業務の新設により、税関に加えて、民間利用者でも到着確認が実施可能です。
- ・BAS/CAS業務による到着確認業務の実施履歴をIAW業務で照会できます。



～参考～

- ・BAS業務は、搬入先の「保税蔵置場」「航空会社」「機用品業」で実施可能。
- ・BAS業務は、輸入貨物情報がシステムから削除された後も実施可能(輸入申告DBのみチェックするため。)
- ・貨物情報の保存期間: BAS/CAS実施日から日祝除く7日
- ・輸入申告情報の保存期間: BAS/CAS実施日から日祝除く4日

照会業務（輸入）について

- 個数・重量・仕出地等の主要項目、通関状況及び保税蔵置場への搬出状況等を、AWB番号等单位に照会できます。

IAW(輸入貨物情報照会)入力画面

The diagram shows the IAW input screen with the following fields and callouts:

- AWB番号***: Input field containing "123 - 45678900". Callout: "AWB番号、HAWB番号、MAWB番号、ULD番号、またはシステム外搬入貨物番号を入力"
- 指定情報**: Input field. Callout: "入力がない場合は、概要情報を照会する"
- 詳細種別**: Input field. Callout: "入力がない場合は、概要情報を照会する"
- 保税蔵置場**: Input field. Callout: "到着便情報照会[FLT]以外の場合は入力不可"

Callout for 指定情報 and 詳細種別:

- 到着空港: 取卸港単位照会
- ST: 到着時刻の昇順照会
- ?: 到着便名不明照会

Callout for 保税蔵置場:

- (1) ロケーション情報照会の場合は、保税蔵置場を必須入力
- (2) ロケーション情報照会以外の場合は、入力不可

Callout for 指定情報 and 詳細種別 (when input is empty):

- SMRY: 概要情報
- FLTI: 到着便情報
- BNDI: 貨物搬入情報
- BOND: 保税蔵置場情報
- BNDI: 貨物搬出情報
- LOC: ロケーション情報
- BBM: 混載仕分情報
- PERM: 手続諸届許可承認情報
- SHIP: 荷送受人情報
- HIST: 履歴情報

利用可能者:

- ・ 税関、航空貨物代理店、保税蔵置場、通関業混載業、航空会社、機用品業、輸出入者(※)
- ※輸出入者の場合は、輸入申告済の貨物で且つ申告した輸入者コードと利用者コードに設定した輸入者コードが同一である事

照会結果は次頁を参照

■ 個数・輸入貨物情報照会 (IAW) 照会結果

SHIP (荷送受人情報)・HIST (履歴情報) 除く共通項目

民間事故コードを出力

AWB: AWB番号
HAWB: HAWB番号
MAWB: MAWB番号
ULD: ULD番号
OTHER: (システム外搬入貨物)

S: スプリット
F: スプリットフル(全量到着済み)

AWB番号※ - 45678905 次指定情報 詳細 保税蔵置場

貨物識別 積込港 S P C 混載業 スプリット 到着便数

MAWB番号 - 仕分け子数

総個数 総重量 - K G M 品名

民間事故 税関事故 STP 蔵置日数

社用品 輸入申告許可

社用品の登録がされている場合は、「V」を出力

税関届出事故コードを出力
(税関が確認済の場合は、
1桁目に「*」を出力)

D: 輸入申告等の申告・申請中
P: 輸入申告等の許可承認
M: マニュアル許可承認

移動差止の旨が登録されている場合は、
「*」を出力、STP登録者である担当税
関利用者コードを出力

■ AWB番号等单位で概要情報の照会をすることができます。

IAW業務 概要情報(上段)の照会出力項目

: 輸入貨物情報DBの到着便情報にAWB予備情報の旨が登録されている場合は、「」を出力

1: 突合済
2: 訂正保留のもの
3: 原因調査中のもの

*: CAI輸入貨物情報DBに保留の旨が登録されたもの

1: 仮陸揚貨物で、輸入貨物情報ファイルに未突合又は不突合で輸出へ移送された場合
2: 仮陸揚貨物で、輸入貨物情報ファイルに突合済で輸出へ移送された場合

到着便情報

予備 ☐ 到着日時 2014/01/15 - 20:00 到着便名 Z41234 / 14JAN NRT 共同運航 ☐ 国籍 ☐
 AWB入力者 JIAB0 () AWB個数 10 AWB重量 100.0 - KGM
 PKG入力者 JIHC1 PKG個数 10 PKG重量 100.0 - KGM 蔵置場所 1HAC1
 突合済 ☒ CAI保留 ☐ 税関訂正 ☒ システム外 ☒ 輸出移送済 ☐ UDA ☐

空港蔵置場搬入日時 2014/01/15 - 20:00 突合日時 2014/01/15 - 19:40

貨物種別 CO 加算個数 10 搬入予定 ☐ 仕向地 NRT

運送種別 ☐ ULD ☐ 運送中 ☒ 代理店 ☐

貨物移動情報

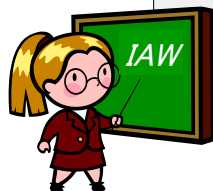
到着日時 2014/01/15 - 20:00 空港蔵置場搬入日時 2014/01/15 - 20:00
 その他蔵置場搬入日時 / / - : 現在蔵置場所 1HAC1 個数 10
 搬出日時 / / - : 蔵置日数 ☐
 ロケーション AAA, 10

K: マル仮、仮・仮貨物
T: TACM貨物
H: 他空港向一括保稅運送仮陸貨物
M: 機移し貨物

*: 税関によりCAI業務が行われたもの

CO: 当該空港揚貨物
TR: 仮陸揚貨物
TI: マル仮貨物
TT: 仮・仮貨物
TS: 機移し貨物

T: 運送中
*: 搬入済
スペース: 蔵置中



2019年3月17日のプログラム変更後に「予備情報表示」欄に出力される内容が「M」(積荷目録事前報告情報)から「*」(AWB予備情報)へ変更しました。ADM01業務の実施有無については業務履歴を確認してください。

■ IAW業務 概要情報(下段)の照会出力項目

U:予備申告(税関空港で貨物引取本申告自動起動)
S:予備申告(空港貨物の集積場所で貨物引取本申告自動起動)
Z:予備申告(貨物搬入時本申告自動起動)
T:予備申告(本申告手動起動)
J:予備申告(貨物到着前自動起動)
H:予備申告後等の本申告
N:通常申告及び申告変更

IC : 輸入申告(申告納税) FC : 輸入申告(少額関税無税)
BP : BP承認申請 IS : 蔵入承認申請
IM : 移入承認申請 IA : 総保入承認申請
IG : 展示等申告 ISW: 蔵出輸入申告(申告納税)
IMW: 移出輸入申告(申告納税) IAC: 総保出輸入申告
HK : 輸入(引取)申告 HKA: 特例委託輸入(引取)申告
HT : 輸入(引取・特例)申告 HTA: 特例委託輸入(引取・特例)申告
TK : 特例申告 TKA: 特例委託特例申告
IT : 一括特例申告 ITA: 特例委託一括特例申告 etc

輸入申告情報

申告種別 **IC** 申告者 J1TC1 申告番号 10000551140 申告税関 1M
 申告日時 2014/01/15 - 19:41 BP承認日時 / / - :
 許可日時 2014/01/15 - 19:41 申告状態 **N**

税関手続情報

識別 **□** 手続許可承認種別 手続者
 手続日時 / / - : 取扱開始日時 / /
 承認日時 / / - : 取扱確認日時 / /
 保税運送審査終了日時 / / - : 保税蔵置場

更新情報

日時	2014/01/15 - 19:41	業務コード	IDC	利用者コード	J1TC1
日時	2014/01/15 - 19:40	業務コード	PKG	利用者コード	J1HC1
日時	2014/01/15 - 19:39	業務コード	ACH	利用者コード	J1AB0
日時	/ / - :	業務コード		利用者コード	

D: KAM業務での同一許可内運送
 S: KAM業務での総合保税地域内運送
 A: 特定保税運送
 H: 包括保税運送に係る個別運送がある場合

照会貨物にかかる処理状況が時系列で表示
 ・最新更新業務 : 業務コードを表示
 ・最新更新利用者 : 利用者コードを表示

■ AWB番号等单位で到着便の情報を照会することができます。

AWB番号* - 12345675 次指定情報 詳細 ☐ 保税蔵置場

貨物識別 積込港 SPC ☐ 混載業 ☐ スプリット 到着便数

MAWB番号 - 仕分け子数

総個数 総重量 -KGM 品名

民間事故 ☐ 税関事故 ☐ STP ☐ 蔵置日数

社用品 ☐ 輸入申告許可 ☐

1 1 / 20

1 予備 ☐ 到着日時 2014/01/10 - 12:00 到着便名 ZA1234 / 10APR 到着空港 NRT 共同運航 ☐ 国籍 ☐

AWB入力者 J1AB0 () AWB個数 AWB重量 -KGM

PKG入力者 J1HC1 PKG個数 PKG重量 -KGM 蔵置場所 1HAC1

突合済 ☐ CAI保留 ☐ 税関訂正 ☐ システム外 ☐ 輸出移送済 ☐ UDA ☐

空港蔵置場搬入日時 2014/01/10 - 12:00 突合日時 2014/01/10 - 14:44

貨物種別 CO 加算個数 搬入予定 ☐ 仕向地 NRT

運送種別 ☐ ULD ☐ 運送中 ☐ 代理店

2 予備 ☐ 到着日時 2014/01/10 - 14:00 到着便名 ZA4321 / 10APR 到着空港 NRT 共同運航 ☐ 国籍 ☐

AWB入力者 J1AB0 () AWB個数 AWB重量 -KGM

PKG入力者 J1HC1 PKG個数 PKG重量 -KGM 蔵置場所 1HAC1

突合済 ☐ CAI保留 ☐ 税関訂正 ☐ システム外 ☐ 輸出移送済 ☐ UDA ☐

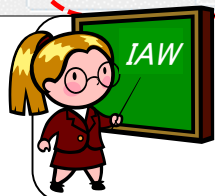
空港蔵置場搬入日時 2014/01/10 - 14:00 突合日時 2014/01/10 - 14:44

貨物種別 CO 加算個数 搬入予定 ☐ 仕向地 NRT

運送種別 ☐ ULD ☐ 運送中 ☐ 代理店

NACCSに登録されている有効な到着便情報の数を出力。
(マル仮、仮・仮または機移し貨物の到着便情報を除く)

S: スプリット
F: スプリットフル(全量到着済み)



2019年3月17日のプログラム変更後に「予備情報表示」欄に出力される内容が「M」(積荷目録事前報告情報)から「*」(AWB予備情報)へ変更しました。
ADM01業務の実施有無については業務履歴を確認してください。

- AWB番号等単位で搬入状況を照会をする事ができます。

AWB番号※ - 次指定情報 詳細 保税蔵置場

貨物識別 積込港 SPC 混載業 スプリット 到着便数

MAWB番号 - 仕分け子数

総個数 総重量 -KGM 品名

民間事故 税関事故 STP 蔵置日数

社用品 輸入申告許可

1 搬入確認日時 - 蔵置場 搬入確認実施者

搬入確認個数 搬入確認重量 保税運送申告番号

搬入表示

2 搬入確認日時 - 蔵置場 搬入確認実施者

搬入確認個数 搬入確認重量 保税運送申告番号

搬入表示

3 搬入確認日時 - 蔵置場

I: システム内搬入
O: システム外搬入

同じ蔵置場であっても、
搬入単位で別表示され
ます。

I: システム内搬入
O: システム外搬入

- AWB番号等单位で蔵置状況を照会をする事ができます。

AWB番号* Z40 - 12345675 次指定情報 詳細 保税蔵置場

貨物識別 AWB 積込港 LAX SPC 混載業 スプリット F 到着便数 3

MAWB番号 - 仕分け子数 0

総個数 30 総重量 300.0 - KGM 品名 LITHIUM ION BATTERIES

民間事故 税関事故 STP 蔵置日数 0

社用品 輸入申告許可

1 1 / 10

1	蔵置場	1HAC1	搬入日時	2014/01/10 - 19:59	蔵置個数	20
	搬入加算個数	30	搬入加算重量	300.0		
	搬出加算個数	10	許可個数	0	搬出可能個数合計	0
2	蔵置場	1HAC8	搬入日時	2014/01/10 - 19:50	蔵置個数	10
	搬入加算個数	10	搬入加算重量	100.0		
	搬出加算個数	0	許可個数	0	搬出可能個数合計	0

蔵置場単位での搬出入
状況を表示

- 同じ蔵置場であっても、**搬出単位**で別表示

- AWB番号等単位で搬出状況を照会をする事ができます。

AWB番号* - 次指定情報 詳細 保税蔵置場

貨物識別 積込港 S P C 混載業 スプリット 到着便数

MAWB番号 - 仕分け子数

総個数 総重量 - K G M 品名

民間事故 税関事故 S T P 蔵置日数

社用品 輸入申告許可

蔵置ロケ

M:ロケーションを手作業で管理する場合
*:入力者の管理する保税蔵置場に蔵置されていない場合に出力

ロケーション管理された貨物の到着便名の便名部、日付部、空港コードを出力
便名部6桁+日付部5桁+空港コード3桁

1	蔵置場	1HAC8	桁数	6	手作業記号	到着便名	Z41231 / 10JAN NRT
	ロケーション	ZZZ, 10					
2	蔵置場	1HAC8	桁数	6	手作業記号	到着便名	Z41233 / 10JAN NRT
	ロケーション	ZZZ, 10					
3	蔵置場	1HAC8	桁数	6	手作業記号	到着便名	Z41235 / 10JAN NRT
	ロケーション	ZZZ, 10					

到着便単位(搬入単位)

PKG / HPK / OIN / BIN01 / LOA業務で登録されたロケーションが表示されます



- AWB番号等单位で保税運送申告や貨物取扱等の税関手続状況 (輸入申告等を除く)を照会をする事ができます。

AWB番号※ - 12345675 次指定情報 詳細 保税蔵置場

貨物識別 MAWB 積込港 LAX S P C ☐ 混載業 J1FC1 スプリット F ☐ 到着原数

MAWB番号 - 仕分け子数

総個 300.0 - KGM 品名 LITHIUM ION BATTERIES

民間 STP ☐ 蔵置日数

社用

*: 手続の取消をした場合
H: 包括保税運送に係る個別運送
A: 特定保税運送
D: KAM業務による同一保税地域内運送
S: KAM業務による総合保税地域内運送

下記、税関手続き種別コード参照※

手続許可承認番号を出力 (保税運送承認番号、貨物取扱番号等)

手続等諸届許可承認情報を出力
前8桁: 許可承認年月日
後4桁: 許可承認時刻を出力

1	識別	許可承認種別 OLI	許可承認番号 14000119220	手続者 J1HC1
税関官署 1M		手続日時 2014/01/10 - 19:59		
取扱開始日時 / / - :		取扱終了日時 / / - :		
取扱確認日時 / / - :		審査終了日時 / / - :		
許可承認日時 2014/01/10 - 19:59		保税蔵置場 1HAC1		

※税関手続き種別コード一覧

(システム通関)

IC: 輸入申告
IS: 蔵入申請
IM: 移入申請
IA: 総保入申請
MIP: 輸入マニフェスト通関申告
KC: 輸入引取申告
CIS: 機用品蔵入申請

(許可承認)

CRF: 外貨機用品積込承認(個別)
SEN: 外貨船用品積込承認
UBI: 別送品輸入許可
MIC: 輸入許可(一般)
BIC: 輸入許可(AWB)
MBP: 輸入許可前引取承認
MIS: 蔵入承認
MIM: 移入承認
MIA: 総保入承認

MKC: 輸入(引取)許可
TAS: 他所蔵置許可
HAK: 廃棄届受理
MEK: 滅却承認
BOU: 亡失届受理
OLM: 保税運送承認
GNS: 現場収容
OTH: 登録情報削除承認
MHN: 見本持出許可

KRR: 仮陸揚届
OLI: 保税運送申告(システム内)
OLO: 保税運送申告(システム外)
TKY: 貨物取扱許
SYU: 税関内収容

(貨物取扱)

RSH: 積戻し申告
BSW: MAWB仕分
NAI: 貨物取扱(内容点検)
SWK: 貨物取扱(改装仕分)
ESW: 貨物取扱(ラベルチェンジ)

■ AWB番号等单位で履歴情報の照会をする事ができます。

AWB番号 * - 次指定情報 詳細 保税蔵置場

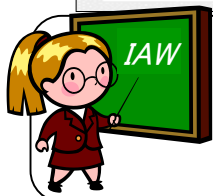
1 / 5

1	更新日時	2014/01/10 - 20:17	更新業務コード	HPK	更新利用者コード	J1HC8
2	更新日時	2014/01/10 - 20:17	更新業務コード	HPK	更新利用者コード	J1HC8
3	更新日時	2014/01/10 - 20:16	更新業務コード	HCH01	更新利用者コード	J1FC1
4	更新日時	2014/01/10 - 20:13	更新業務コード	HPK	更新利用者コード	J1HC8
5	更新日時	2014/01/10 - 20:07	更新業務コード	LOA01	更新利用者コード	J1HC8
6	更新日時	2014/01/10 - 20:07	更新業務コード	BIN01	更新利用者コード	J1HC8
7	更新日時	2014/01/10 - 20:04	更新業務コード	OUT	更新利用者コード	J1HC1
8	更新日時	2014/01/10 - 20:04	更新業務コード	OLT01	更新利用者コード	J1HC1
9	更新日時	2014/01/10 - 20:01	更新業務コード	PKG	更新利用者コード	J1HC1
10	更新日時	2014/01/10 - 20:01	更新業務コード	PKG	更新利用者コード	J1HC1
11	更新日時	2014/01/10 - 20:01	更新業務コード	BIN01	更新利用者コード	J1HC8
12	更新日時	2014/01/10 - 19:59	更新業務コード	OUT	更新利用者コード	J1HC1
13	更新日時	2014/01/10 - 19:59	更新業務コード	OLT01	更新利用者コード	J1HC1
14	更新日時	2014/01/10 - 19:59	更新業務コード	PKG	更新利用者コード	J1HC1
15	更新日時	2014/01/10 - 19:58	更新業務コード	ACH	更新利用者コード	J1AB0
16	更新日時	2014/01/10 - 19:58	更新業務コード	ACH	更新利用者コード	J1AB0
17	更新日時	2014/01/10 - 19:57	更新業務コード	ACH	更新利用者コード	J1AB0

直近

過去100件まで照会可能となっております。

過去



2019年3月17日のプログラム変更後に「予備情報表示」欄に出力される内容が「M」(積荷目録事前報告情報)から「*」(AWB予備情報)へ変更しました。ADM01業務の実施有無については業務履歴を確認してください。

輸入貨物取扱業務について

蔵置中の保税貨物に行う各種業務一覧(輸入)

CHS 貨物取扱登録 (改装・仕分け)	保税地域に蔵置されている貨物に対して関税法第40条第1項に基づく改装・仕分け、またはスプリット情報仕分けを行う。 本業務を行った場合は、取扱保税蔵置場の管理者により「貨物取扱確認登録(改装・仕分)(CFS)」業務が必要となる。 また、本業務で登録した情報の取消しは、取扱保税蔵置場の管理者が本業務で取消しを行うことができる。
CFS 貨物取扱確認登録 (改装・仕分け)	「貨物取扱登録(改装・仕分)(CHS)」業務により改装・仕分けまたはスプリット情報仕分けされた貨物の取扱確認を行う。 また、CHS業務により仕分けた件数の変更を行う。
CHN 貨物取扱登録 (内容点検)	保税地域に蔵置されている貨物について、関税法第40条第1項に基づく「内容点検」「その他の手入れ」を行う場合に本業務により必要事項を登録する。
CHC 貨物取扱取消 (内容点検)	CHN業務で行った登録の取消しを行う。
CHT 貨物取扱登録 (特殊貨物)	※蔵置料金計算を行う保税蔵置場が利用する業務となる。 エサの供給、運動等を必要とする動物またはドライアイスの供給が必要な要冷蔵貨物についての取扱作業を通関業等から依頼されている場合に登録を行う。 また、本業務で登録済の取扱情報の取消しを行う。

CHS(貨物取扱登録 (改装・仕分))呼出し 入力画面

処理区分 ☐

A W B 番号* -

仕分数 ☐

取扱 保税蔵置場

スペース:改装・仕分け
S:情報仕分け
R:時間延長
X:取消し

「X:取消し」は、蔵置場のみ登録可能です。
(他所蔵置場所の場合は、税関)

CHS01(貨物取扱登録 (改装・仕分)) 入力画面

税関官署 ☐ 取扱 保税蔵置場 仕分数 ☐ 処理区分 ☐

取扱開始日時 / / - : : 取扱終了日時 / / - : :

A W B 番号* -

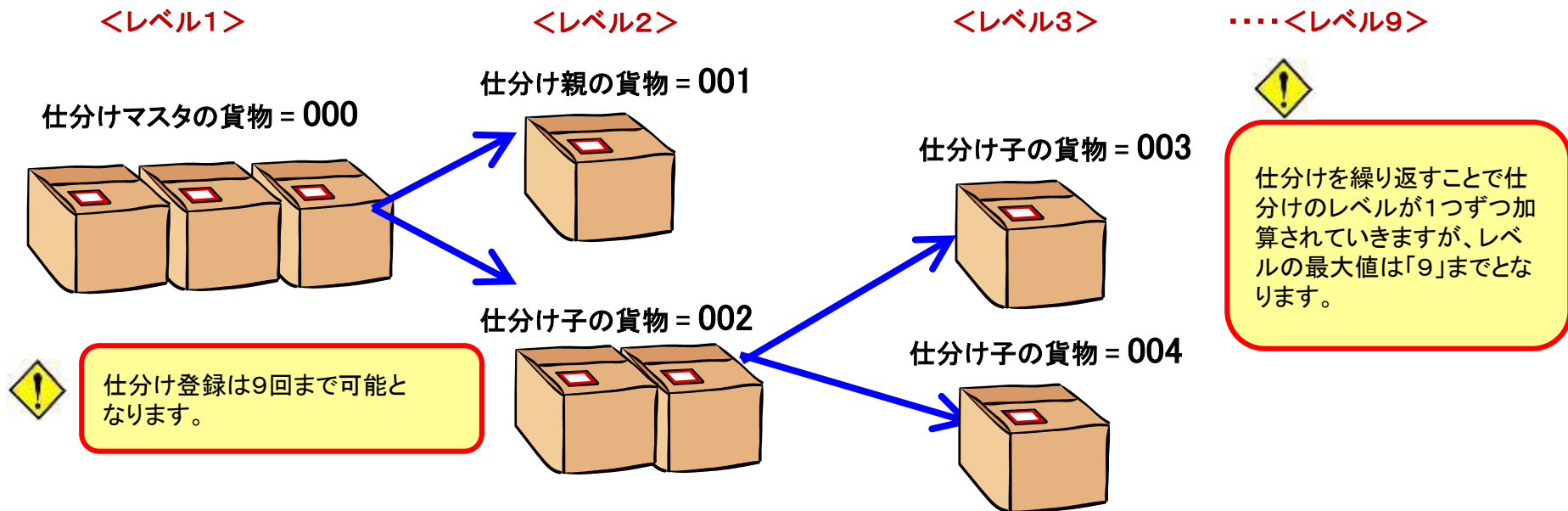
	終了	個数	重量	品名	SPC	メモ
01	☐	☐				
02	☐	☐				
	☐	☐				
04	☐	☐				
	☐	☐				
06	☐	☐				
07	☐	☐				
08	☐	☐				

改装・仕分けの場合は、2以上を入力

入力した仕分数より実際に仕分けした貨物の件数が少ない場合は、無効としたい欄に「E」を入力
(入力した欄以降はCHS業務処理対象外となる。)

S:情報仕分けの場合は、仕分け親の貨物の蔵置個数と等しいこと

CHS業務により払い出される枝番について



1. 入力された仕分数より仕分け子枝番を払いだします。1件の貨物に対して仕分けできる件数は999件までとなります。ただし、情報仕分けの場合は、1件のみの仕分け子枝番の払い出しとなります。
2. 仕分け子枝番は、既に払い出されている最大枝番の次の番号を連番で払い出します。(CHSで取消を行った場合も同様です。)

CFS(貨物取扱確認登録 (改装・仕分))呼出し 入力画面

A W B 番号 * -

増加仕分数

CFS01(貨物取扱確認登録 (改装・仕分)) 入力画面

取扱変更 ☐ 増加仕分数

A W B 番号 (親) * -

	追加 ロケーション	枝番	個数	重量	品名	事故	手作業	終了
01								
02								
03								
04								
05								
08								

- (1) 仕分数に増分がある場合に入力
- (2) 「0」は入力不可
- (3) 増加仕分数が登録されている場合は、入力不可
- (4) 情報仕分けの場合は、入力不可

情報仕分けの場合は、CHS業務で入力された個数と等しいこと

(1) CHS業務により仕分けられた数より、実際の仕分数が少なかった場合は「E」を入力(入力した欄はCFS処理対象外となる)

例: 当初3件に仕分けする予定が、2件となった場合、
3行目終了欄に「E」入力

(2) 情報仕分けの場合は、先頭欄に入力不可

CHN(貨物取扱登録 (内容点検)) 入力画面

税関官署 ☐ 取扱種別* ☐ 保税蔵置場* ☐

取扱開始年月日・時刻* 2010/09/17 - : から

取扱終了年月日・時刻* 2010/09/17 - : まで

AWB番号

Y:内容点検の場合
N:その他の取扱いの場合

01 -

02 -

03 -

04 -

05 -

06 -

07 -

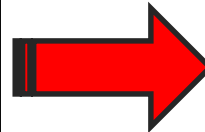
08 -

09 -

10 -

内容点検を行うAWB番号を
必須入力

行ったCHNを
取り消すには...



CHC(貨物取扱取消 (内容点検)) 入力画面

貨物取扱番号*

AWB番号

01 -

02 -

03 -

04 -

05 -

06 -

07 -

08 -

09 -

10 -

CHNで払い出された貨物取
扱番号を必須入力

取消しを行うAWB番号を
必須入力

- ・「内容の点検」とは、貨物を開披してその内容品の品質若しくは数量を点検し、またはその機能について簡単な点検を行うことをいう。
- ・「その他の手入れ」とは、貨物の記号、番号の刷換えその他貨物の現状を維持するために行うさびみがき、油さし、虫ぼし、風入れ、洗浄及びワックスかけ等をいう。

CHT(貨物取扱登録(特殊貨物)) 入力画面

税関官署 ☐ 貨物種別* 処理区分

取扱開始年月日・時刻 2010/09/17 - : : から

取扱終了年月日・時刻 2010/09/17 - : : まで

スペース:登録
C:取消し

AWB番号	投入量	単価	区分	備考	個数
01 -					
02 -					



蔵置料金計算を行う保税蔵置場が利用する業務です。

I:ICE(ドライアイスを投入する必要のあるもの)
A:AVI(犬、猫、猿等の動物の場合で、エサの投入または運動等を必要とするもの)
O:OTHER(上記以外のもの、例えば消毒等を必要とするもの)



おなじ保税蔵置場に対して複数回登録を行う場合は、先に登録されている種類と、同じ種別の登録のみとなります。違う種別の入力を行うとエラーとなります。

(1)ドライアイスまたはエサの量を入力
(2)区分が「R」の場合は、入力不可
(3)取扱貨物の種類が「A」の場合で、かつ区分がスペースの場合は、必須入力

(1)動物の運動及び小屋清掃要の場合は、「R」を入力
(2)(1)の場合は、取扱貨物の種類が「A」であること
(3)取扱貨物の種類が「A」の場合で、かつ区分がスペースの場合は、投入量に入力があること

<取扱関連計算処理について>

次の計算処理の結果を登録しておくことで、**OUT(搬出確認登録(一般))**時に出力される「請求書・領収書・計算書情報」に反映されます。

- ①動物の運動等の取扱累積個数の計算
- ②ドライアイス詰替累積個数の計算
- ③実費累積値の計算
実費の計算(投入量×単価)を行いその値を加算する。
- ④取扱重量の計算処理

$\frac{\text{入力個数}}{\text{輸入貨物情報に登録されている個数}} \times \text{輸入貨物情報に登録されている重量}$
--

蔵置中の保税貨物を行う各種業務一覧(輸出入共通)

AHD 貨物取扱許可申請	保税蔵置場等に蔵置されている貨物について「見本の展示」、「簡単な加工」及び「その他これらに類する行為」を行う場合は、本業務により貨物取扱許可申請を行う。
AHI 貨物取扱結果通知 (貨物取扱許可申請)	「貨物取扱許可申請(AHD)」業務で登録された取扱いについて、取扱いが終了した旨を通知する。
AHH 貨物取扱許可申請取消	システムにより行われた貨物取扱許可申請の取消し、または許可の取消しを行う。
MMA 見本持出許可申請	貨物情報が登録されている貨物を見本として一部持出す場合に申請する。 関税法基本通達32-3に規定する包括許可に係る申請はMMAの対象外であり、マニュアルによる申請を行う。 見本持出申請を行った場合、簡易審査扱い(区分1)の場合は即時に、また、書類審査扱い(区分2)の場合は、税関による見本持出審査終了(MME)業務により、見本持出許可通知情報が配信される。<u>第6次NACCSより持出先の入力可能桁数が140桁になりました。</u>
MMO 見本持出確認登録	MMA業務にて許可となった見本を保税地域等から一時持出した場合は、MMO業務にてその旨を登録する。 MMA業務による持出期間終了日の2日後に情報が削除されるため、以降はMMOが実施できなくなる点に留意する。 本業務は任意業務であるが、管理統計資料「貨物取扱等一覧データ」の一時持出年月日に出力する必要がある場合、必須業務となる。MMO業務の取消しは、MMO業務で実施する。
MMC 見本持出取消	MHA業務を行った利用者が、税関の許可前にあらかじめ税関保税担当部門に申し出た後行う。 許可後の場合は、「NACCS登録情報変更願」を税関へ提出し、税関が取り消すこととなる。

I: 輸入貨物
E: 輸出貨物(仮陸揚貨物、積戻し貨物を含む)

取扱保税蔵置場に蔵置されている個
数以下であること

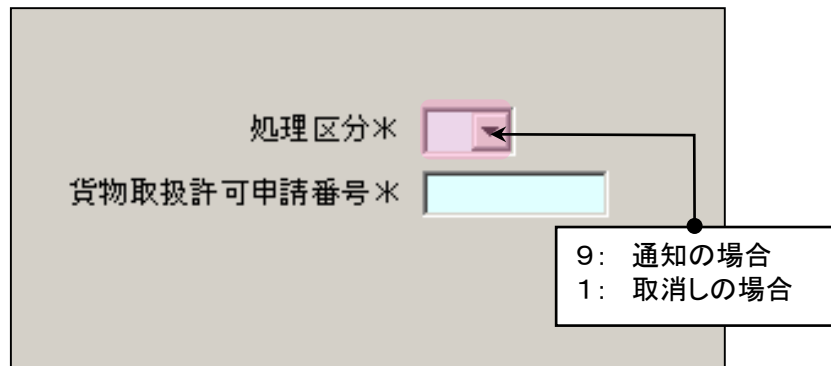
整数部6桁、小数部3桁

数量単位コード
KGM: キログラム
LBR: ポンド

KGM、LBRの単位以外の入力も可能ですが、搬入業務で入力可能な単位はKGM、LBRのみのため上記以外の単位を入力してしまうと本来の数量単位と異なることとなってしまいます。
上記いずれかの単位で入力してください。

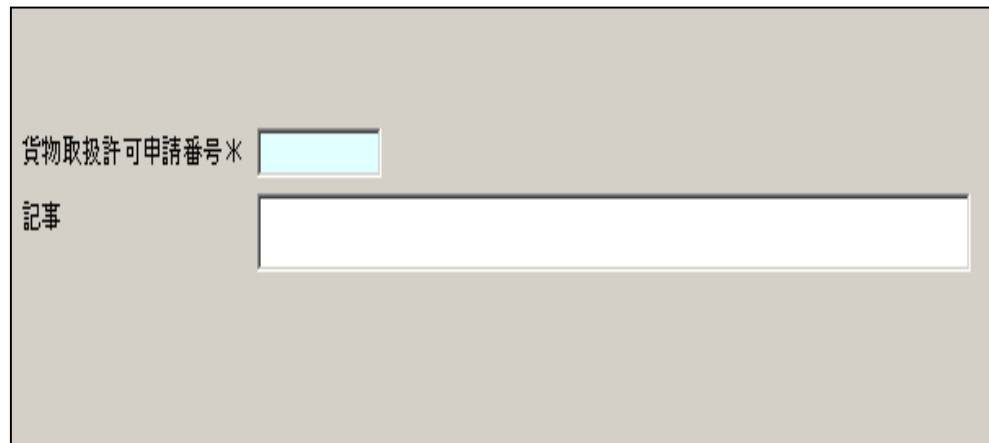
※ここでの入力結果は、管理資料
「航空輸出貨物取扱等一覧データ(ABT6300)」、
「航空輸入貨物取扱等一覧データ(ABS7000)」に
反映されます。

AHI(貨物取扱結果通知)入力画面



「貨物取扱許可申請(AHD)」業務で登録された取扱いについて、取扱いが終了した旨を通知します。また、当該通知を取り消す場合もこの業務を行います。なお、本業務は貨物取扱許可申請を行った利用者への通知が必要な場合に行うこととなります。

AHH(貨物取扱許可申請取消)入力画面



システムにより行われた貨物取扱許可申請の取消しを行います。この業務を行うことができるのは、「貨物取扱許可申請(AHD)」業務を行った利用者となります。

MMA(見本持出許可申請)入力画面

貨物の区分*	I R	I: 輸入貨物 R: 輸出貨物(積戻し未通関貨物)
A W B 番号*		
申請先税関官署		
蔵置場所		(1) 他所蔵置場所に蔵置されている場合は、必須入力 (2) 税関官署を入力する場合は、蔵置場所の管轄税関官署と同一税関内の税関官署を入力 (3) 入力が省略された場合は、蔵置場所を管轄する税関官署を処理対象とする
持出期間開始日*		
終了日*		
持 出 先*		
個 数	-	
数 量*	-	持出しする見本の重量または容積を入力(整数部6桁、小数部3桁)
品目コード		
見本品名*		(1) 持出しする見本の価格を入力 (2) 通貨種別コードが「JPY」以外の場合は、小数点以下第2位まで入力可 (3) 通貨種別コードが「JPY」の場合は、小数点以下入力不可
価 格*	-	
持出事由*		
記 事		KNP: 荷主検品 FOD: 他法令該当(食品衛生法) LAW: 他法令該当(食品衛生法以外) OTH: その他

Attention !

第6次NACCS更改に伴うMMA業務の仕様変更について

「持出先」欄に全角70桁の日本語入力を可能とする。



見本持出許可申請を行うと、システムは申請を「簡易審査扱い」または「書類審査扱い」のいずれかに選定します。

「簡易審査扱い」に選定された申請は即時に許可となります。「書類審査扱い」に選定された申請は、税関が行う「見本持出許可申請審査終了(MME)」業務により許可となります。その際、保税蔵置場へ「見本持出許可貨物情報(AAL5120)」が出力されます。

MMO(見本持出確認登録)入力画面

処理区分*		9: 一時持出 1: 一時持出の取消し
見本持出許可申請番号*		
一時持出年月日		
一時持出時刻		

「見本持出許可申請(MMA)」業務により登録され許可となった見本を一時持出した場合に、その旨を登録する業務です。
一時持出した旨を取り消す場合も本業務で行うことができます。



本業務は任意業務となりますが、管理資料「航空輸入貨物取扱等一覧データ」または「航空輸出貨物取扱等一覧データ」上に見本持出年月日を出力する必要がある場合は必須業務となります。



業務可能期間は、次のいずれかに該当する日から2日間(日祝除く)となります。

- ①許可(簡易審査扱い)となった持出期間終了年月日
- ②「見本持出取消(MMC)」業務を行った日
- ③税関で「見本持出許可申請審査終了(MME)」業務が行われた場合、持出期間終了年月日

MMC(見本持出取消)入力画面

見本持出許可申請番号＊

MMA(見本持出許可申請)でシステムから払い出された見本持出許可申請番号を入力

申請の取消しを行うには、あらかじめ税関に申し出てから行う必要があります。



MMA(見本持出許可申請)の許可前は申請者が**MMC(見本持出取消)**を行うことができますが、許可後は税関が**MMC(見本持出取消)**を行うこととなります。
MMCが行われると保税蔵置場へ「見本持出取消通知情報(AAL5140)」が出力されます。



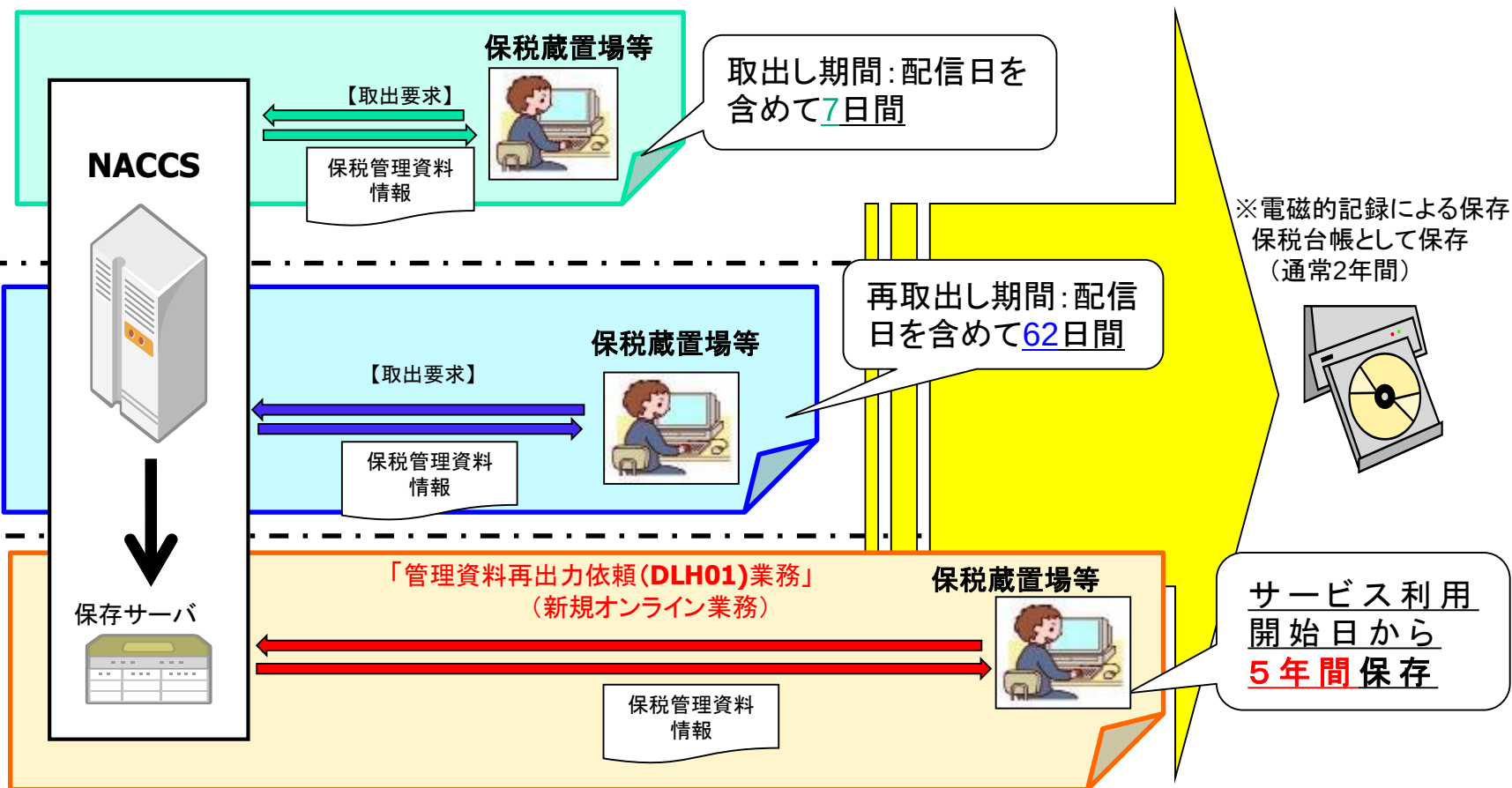
入力された見本持出許可申請番号に対する「見本持出確認登録(**MMO**)」業務がされていると取消しを行うことができません。この場合、訂正業務がありませんので、訂正を行う場合は取消後に再度申請を行う必要があります。

NACCSの利用について

通常時

再取出し

保存サービス利用

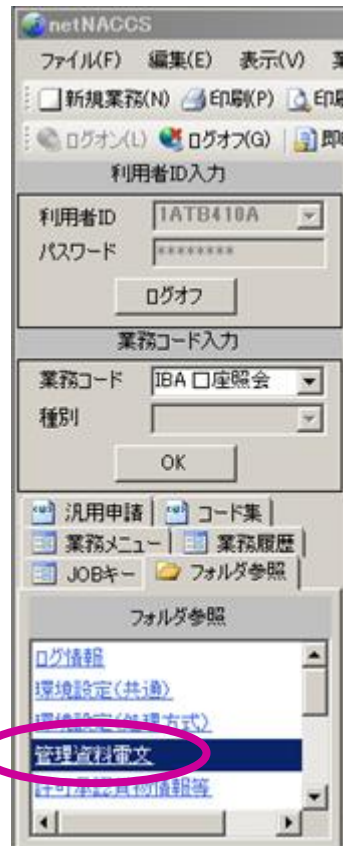


☆保税台帳として利用可能な管理資料情報

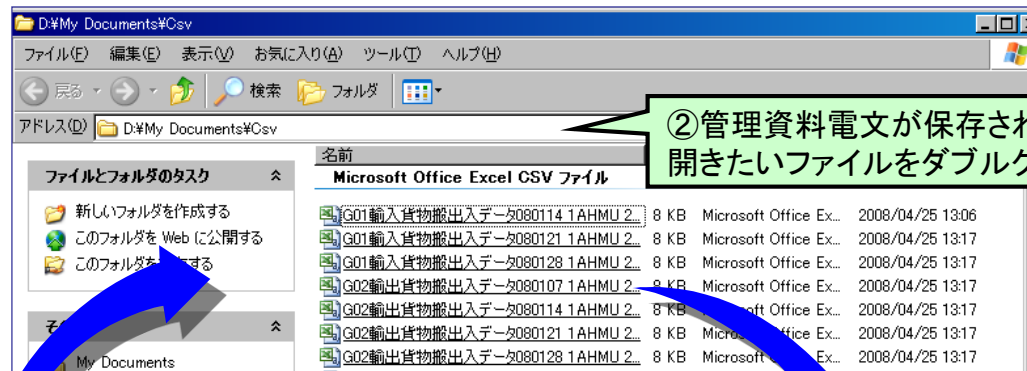
- | | | | |
|---|-----|--------------------|---------|
| ① | S13 | 航空輸出貨物取扱等一覧データ(日報) | ABT6300 |
| ② | S14 | 航空輸出貨物搬出入データ (日報) | ABT6400 |
| ③ | T19 | 航空輸入貨物搬出入データ (日報) | ABS6900 |
| ④ | T20 | 航空輸入貨物取扱等一覧データ(日報) | ABS7000 |

※電磁的記録による保存を行う場合には、事前に管轄税関への届け出が必要となります。

○ 取出し済みの管理資料は、以下の手順で展開および確認が可能です。



①「フォルダ参照」タブの「管理資料電文」をクリック



②管理資料電文が保存されているフォルダが開く開きたいファイルをダブルクリックし展開

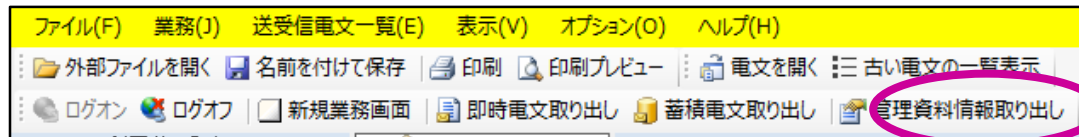
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	SBS1400		1AHMU								
2	20080114		11AW01								
3	輸入貨物搬出入データ										
4	搬入日	搬入時刻	搬出日	搬出時刻	搬出取消E	貨物管理番号	船舶	船舶名	入港日	品名	個数
5	20080109	'1500	20080110	'1000	0	DSEN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	GRAPEFRU	
6	20080109	'1100	20080110	'1530	0	DSEN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	GRAPEFRU	
7	20080110		20080111			DSEN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	GRAPEFRU	
8	20080109	'1330	20080111	'1500	0	DSEN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	GRAPEFRU	
9	20080110	'1800	20080112	'0930	0	DSEN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	GRAPEFRU	
10	20080111	'1130	20080112	'1000	0	DSEN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	GRAPEFRU	
11	20080110		20080113		0	DSEN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	ORANGE,M	
12	20080111	'1500	20080113	'1100	0	DSEN2134	JNAC01	NACCS M/A	20080109	ORANGE,M	
13	20080112	'1600	20080113	'1500	0	DSEN227B	JNAC01	NACCS M/A	20080109	ORANGE,M	
						20080113	DSEN227B	JNAC01	NACCS M/A	20080109	ORANGE,M

③管理資料電文を表計算ソフトで開く
(画面はMicrosoft社のMS-Excelで展開したもの)

管理資料は社内で確実な管理をお願いいたします。

○ 定期的に配信される管理資料は、以下の手順で取出します。

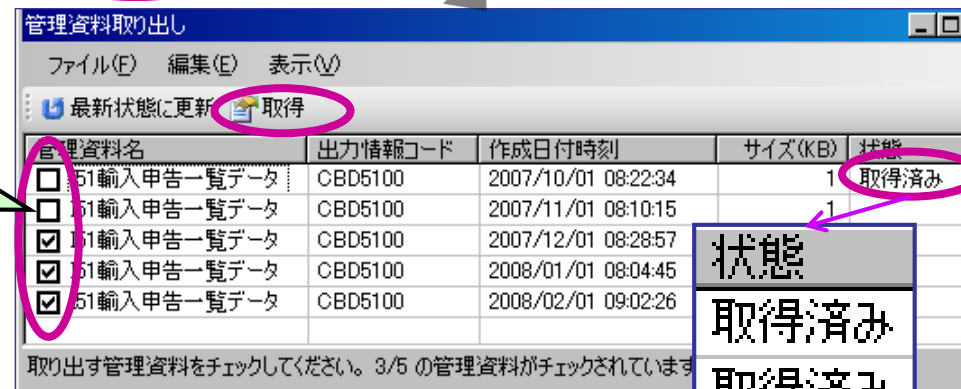
① パッケージソフトの上部メニューから、管理資料取り出しをクリックします。



② 取出、または再取出したい管理資料を☑選択。

③ 「取得」ボタンをクリック。

・取出したい管理資料をチェックします
・チェックをまとめて行いたい場合は、
右クリックしサブメニューを利用します



状態
取得済み
取得済み
取得済み

取出した後は「状態」欄が
「取得済み」に変わります

Attention !

第6次NACCS更改後は、月報管理資料のうち、以下の管理資料の配信日を「毎月1日」に統一します。

G03:保税運送申告一覧データ
G04:貨物取扱等実績データ
G06:船積確認事項登録実績データ
G11:卸コンテナリスト取扱件数管理データ
G12:積コンテナリスト取扱件数管理データ
H01:輸出申告一覧データ
H02:輸出貨物許可承認等実績データ
I51:輸入申告一覧データ
I52:輸入貨物許可承認等実績データ
T07:医薬品医療機器等輸入報告品目一覧表

※出力先に保税蔵置場が含まれるのはG03、G04、G06



- ・管理資料の通常取出は、配信日を含めて**7日間**(土日祝日を含む)の保存期間中に一度のみ可能です
- ・7日間経過後は、管理資料情報の再取出にて取得します(配信日を含めて**62日間**)
- ・保税管理資料保存サービスを追加お申込みされているお客様は **5年間**保存とし、オンライン業務(DLH01)により必要な期間の資料取出しが可能です

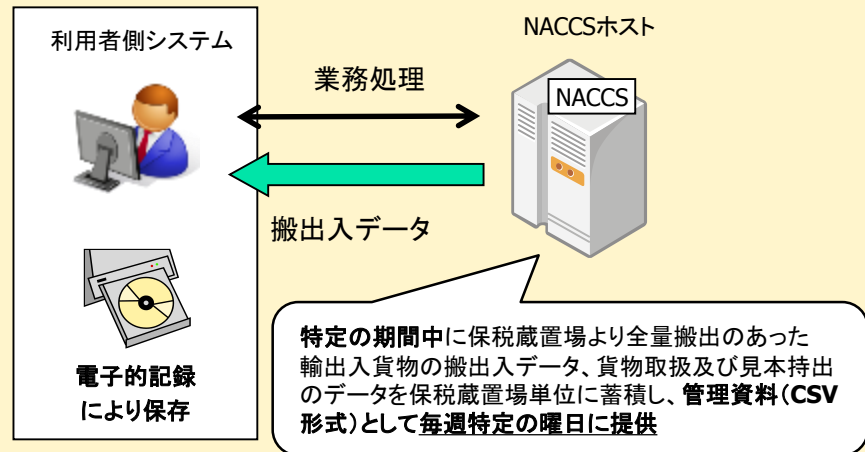
NACCSの管理資料を活用し、保税台帳として取扱うことができます。

留意事項

- ・マニュアル処理された場合、従来どおり別途保税台帳に記帳する必要があります。
 - ・電磁的記録により保税台帳を保存する場合、事前に税関への届出が必要となります。
- 具体的な取扱は管轄税関の保税部門にご確認ください。

さらに、保税管理資料保存サービスも提供しています。

保税管理資料データの取だし期間(保存期間)を5年間(通常は62日間)とするサービス「保税管理資料保存サービス」を提供しています。
※ご利用にはあらかじめ利用契約の変更手続きが必要となります。
《ご利用料金》1利用者コード毎に月額1,000円



海上貨物関連 管理資料情報名

【G01 輸入貨物搬出入データ】

前週中に保税地域より搬出のあった輸入貨物の搬出入データを保税地域単位に出力する。なお、搬出取消しのあった輸入貨物のデータも出力する。

【G02 輸出貨物搬出入データ】

前週中に保税地域より搬出(船積み含む。以下同様)のあった輸出貨物の搬出入データを保税地域単位に出力する。なお、搬出取消しのあった輸出貨物のデータも出力する。

【G05 貨物取扱等一覧データ】

前週中に貨物取扱登録、貨物取扱許可された貨物の取扱等一覧データを保税地域単位に出力する。また、見本持出許可申請または見本持出確認登録が行われた貨物においては、一定期間経過後に保税地域単位に出力する。

保税管理資料保存サービスの詳細につきましては、NACCS掲示板よりご確認ください。

NACCS掲示板 > NACCS業務仕様・関連資料 > 各種資料 > 保税管理資料保存サービス関連資料

航空貨物関連 管理資料情報名

【S13 航空輸出貨物取扱等一覧データ】

前日中に貨物取扱登録(仕分け及び仕合せの場合を除く)、貨物取扱許可された輸出貨物の取扱等一覧データを保税蔵置場単位に出力する。また、見本持出許可申請または見本持出確認登録が行われた貨物においては、一定期間経過後に保税蔵置場単位に出力する。

【S14 航空輸出貨物搬出入データ一覧】

前日中に保税蔵置場より搬出入のあった輸出貨物のデータを保税蔵置場単位に出力する。なお、搬出取消しや訂正のあった輸出貨物のデータも出力する。

【T19 航空輸入貨物搬出入データ一覧】

前日中に保税蔵置場より搬出入のあった輸入貨物のデータを保税蔵置場単位に出力する。なお、搬出取消しや訂正のあった輸入貨物のデータも出力する。

【T20 航空輸入貨物取扱等一覧データ】

前日中に貨物取扱登録(改装・仕分けの場合を除く)、貨物取扱許可された輸入貨物の取扱等一覧データを保税蔵置場単位に出力する。また、見本持出許可申請または見本持出確認登録が行われた貨物においては、一定期間経過後に保税蔵置場単位に出力する。

利用可能業種：CY、保税蔵置場、航空会社、機用品業

	業務 仕様書 番号	管理資料名	出力情報コード	周期	備考
1	T19	航空輸入貨物搬出入データ（航空）	ABS6900	日報	
2	T20	航空輸入貨物取扱等一覧データ（航空）	ABS7000	日報	
3	S13	航空輸出貨物取扱等一覧データ（航空）	ABT6300	日報	
4	S14	航空輸出貨物搬出入データ（航空）	ABT6400	日報	
5	G01	輸入貨物搬出入データ（海上）	SBS1400	週報	月曜日配信
6	G05	貨物取扱等一覧データ（海上）	SBS1700	週報	火曜日配信
7	G08	輸入貨物コンテナ関連データ（海上）	SBS1800	週報	月曜日配信
8	G02	輸出貨物搬出入データ（海上）	SBT0200	週報	火曜日配信
9	G09	輸出貨物コンテナ関連データ（海上）	SBT0500	週報	火曜日配信

「1 利用者コード」ごとに月額1,000円で

保税管理資料を5年間保存します！！

【お申込み方法】

利用申込の入力例(変更申込) | 「14. 保税管理資料保存サービスの変更」をご参照のうえ、NSS (NACCSサポートシステム) よりお申込ください。

第6次NACCSでは、MMC(見本持出取消)業務の履歴が管理資料「S13 航空輸出貨物取扱等一覧データ」及び「T20 航空輸入貨物取扱等一覧データ」に反映されます。

Attention !

第6次NACCS更改に伴う管理資料出力項目の追加について

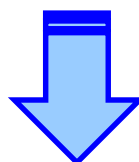
5次NACCSの貨物取扱等一覧データ

例：登録許可番号A：見本持出許可後に、MMC業務が実施されたもの
登録許可番号B：見本持出許可後に、MMO業務が実施されたもの
登録許可番号C：見本持出許可後に、MMC業務・MMO業務の何れも実施されていないもの

AとCの区別がつかない

航空輸出貨物取扱等一覧データ						
貨物取扱等種別	登録許可年月日	登録許可番号	...	見本持出年月日	持出先	...
M	XXXXX	A			XXX	XXX
M	XXXXX	B		20140901	XXX	XXX
M	XXXXX	C			XXX	XXX

※上記表示例は管理資料S13のものです



6次NACCSの貨物取扱等一覧データ

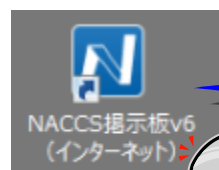
新規項目により、AとCの区別が可能

航空輸出貨物取扱等一覧データ						
貨物取扱等種別	登録許可年月日	登録許可番号	...	見本持出年月日	許可取消年月日	持出先
M	XXXXX	A			20140902	XXX
M	XXXXX	B		20140901		XXX
M	XXXXX	C				XXX

※上記表示例は管理資料S13のものです

見本持出許可後に「見本持出取消(MMC)」業務が実施された場合は、新規項目に見本持出許可取消年月日を出力する。

クイックメニューは、業務分野ごとに「業務仕様書」「FAQ(よくある問合せ)」「NACCS業務資料」等を集約し、お客様が日々の業務で使う情報へのリンクをページ内に設定しています。




NACCS 掲示板 第6次版

TOP | NACCSのご利用方法 | 申込手続 (NSS) | NACCS業務仕様・関連資料 | よくある問合せ

人・物・国をつなぐ
「総合的物流情報プラットフォームシステム」としてのNACCSを通じて、国際物流の発展に貢献します。

航空クイックメニュー
(航空業務を扱うお客様)

海上クイックメニュー
(海上業務を扱うお客様)

NACCS 運航状況メール 配信サービス

ピックアップメニュー

- ✓ 第6次パッケージソフト デジタル証明書
- ✓ 第6次総合運航試験情報
- ✓ 第6次NACCS情報
- ✓ 運航コード集

運航状況 (総合運航試験)

現在NACCSの運航状況は、現行NACCS掲示板よりご確認ください。

総合運航試験	新着情報	航空	海上	共有	税関	関係者庁
NACCS	【申請案内】第6次NACCS保守日運用確認について (2017年08月03日)					
港航局発表	第6次NACCS総合運航試験 運航管理者の参加状況一覧 (2017年07月31日)					
NACCS	【お知らせ】パッケージソフト (総合運航試験版) のバージョンアップについて (3回目) (2017年07月31日)					
NACCS	【お知らせ】フェーズII 運航者の海上輸入確認データの追加について (2017年07月31日)					
NACCS	メインセンター切戻し完了について (切替初度し運用確認) (2017年07月31日)					
NACCS	NACCS側のDOCSを利用できない自社システム (SMTP双方向) の切戻し案内 (切替初度し運用確認) (2017年07月31日)					
NACCS	第6次NACCS切替・切戻し運用確認 (切戻し) の案内について (第1回目) (2017年07月28日)					
NACCS	NACCS側のDOCSを利用できない自社システム (SMTP双方向) の切替案内					

クイックメニューの閲覧は次ページを参照

NACCS
Nippon Automated Cargo And Port Consolidated System

業務フロー内の業務コードをクリックすることで選択した業務コードの仕様書や入力項目を確認できます。ページ下部では業務コード集や原産地証明書識別、業務エラーメッセージ集を確認できるようリンクしています。

4505 PKG 異物可 受信機登録			
異物検出番号	4505		
無線モード	PKG		
異物名	片側電圧検出器		
異物説明	本装置検出された異物(左側)は、外部電圧に由来し、異物の検出電源は本装置電源に由来して、ANR甲種に異物監視及び異物監視、検出の検出結果を入力する。		
入力項目 入力項目	異物	無線モード	入力項目 入力項目
入力項目	異物、異物検出、異物検出、異物検出、異物検出、異物検出		
FRONT (入力)	受信機登録		
	受信機登録		
	受信機登録	*ANR	
	受信機登録	ANR101	

深層コード集 (Air-NACCS、Sea-NACCS)			
英語 航空 海上			
英語			
コード名称	データ	最新データ掲載日	形式と形式
1 航空機用コード	CSV形式	2017.6.5	
2 NACCS用貨品コード (IS40)	CSV形式	2017.7.3	CSV形式
3 NACCS増設品コード (IS40増設品)	CSV形式	2017.7.3	CSV形式

英語エディターメニュー	
1	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100
101	
102	
103	
104	
105	
106	
107	
108	
109	
110	
111	
112	
113	
114	
115	
116	
117	
118	
119	
120	
121	
122	
123	
124	
125	
126	
127	
128	
129	
130	
131	
132	
133	
134	
135	
136	
137	
138	
139	
140	
141	
142	
143	
144	
145	
146	
147	
148	
149	
150	
151	
152	
153	
154	
155	
156	
157	
158	
159	
160	
161	
162	
163	
164	
165	
166	
167	
168	
169	
170	
171	
172	
173	
174	
175	
176	
177	
178	
179	
180	
181	
182	
183	
184	
185	
186	
187	
188	
189	
190	
191	
192	
193	
194	
195	
196	
197	
198	
199	
200	
201	
202	
203	
204	
205	
206	
207	
208	
209	
210	
211	
212	
213	
214	
215	
216	
217	
218	
219	
220	
221	
222	
223	
224	
225	
226	
227	
228	
229	
230	
231	
232	
233	
234	
235	
236	
237	
238	
239	
240	
241	
242	
243	
244	
245	
246	
247	
248	
249	
250	
251	
252	
253	
254	
255	
256	
257	
258	
259	
260	
261	
262	
263	
264	
265	
266	
267	
268	
269	
270	
271	
272	
273	
274	
275	
276	
277	
278	
279	

ピックアップメニューから閲覧
したい情報にアクセスすること
が可能です。

サポート体制

■ お問い合わせ窓口

事務所	電話番号	FAX番号	運営時間
ヘルプデスク	 0120-794550	 0120-794-529	終日

NACCSセンターではヘルプデスクを開設し、24時間・365日体制で問い合わせ対応を行っています。

ヘルプデスクでは、お客様がご利用されるNACCS掲示板に掲載しているコンテンツのご案内を始めとして、お客様からのお問い合わせ対応による経験と実績を基に、NACCSのシステム、パッケージソフト及びネットワーク並びに利用申込手続き等について、お客様からの電話等でのお問い合わせにおける初期対応を担当しています。